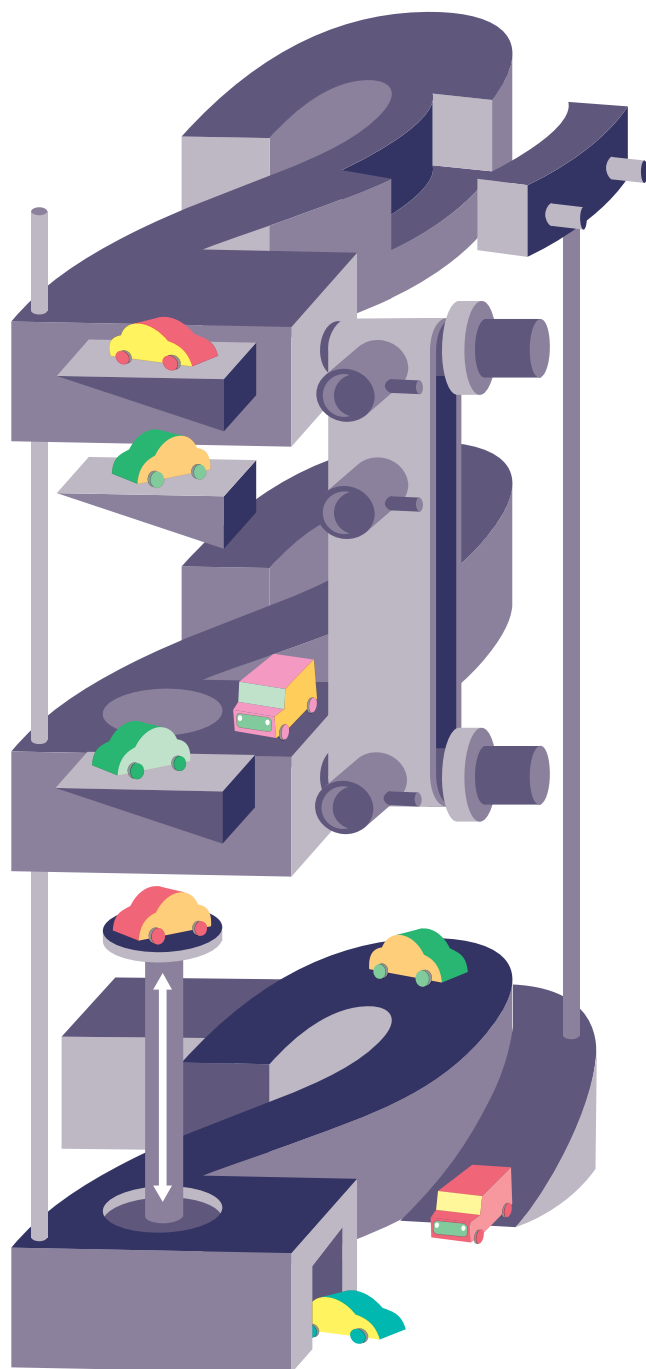


Jikencenter NEWS

自研センターニュース 令和5年2月15日発行
毎月1回15日発行(通巻569号)

2
FEBRUARY 2023



C O N T E N T S

新型車構造情報.....	2
メルセデス・ベンツ Aクラス(177084)	
ボディ構造、補給形態および取替作業について	
新型車構造情報.....	20
ニッサン サクラ(B6AW) 構造調査	

新型車構造情報

メルセデス・ベンツ Aクラス（177084） ボディ構造、補給形態および取替作業について

1. はじめに

メルセデス・ベンツ日本株式会社から 2018 年 10 月に発売された、4 代目 A クラス（177084）のボディ構造について紹介します。



2代目(W169)とのボディサイズ比較(単位 mm)

	2代目(W169) A200 エレガンス	3代目(W176) A180 ※指数なし	4代目(W177) A180 スタイル
全長	3,850	4,290 (+440)	4,420 (+570)
全幅	1,765	1,780 (+15)	1,800 (+35)
全高	1,595	1,435 (-160)	1,420 (-175)
ホイールベース	2,570	2,700 (+130)	2,730 (+160)

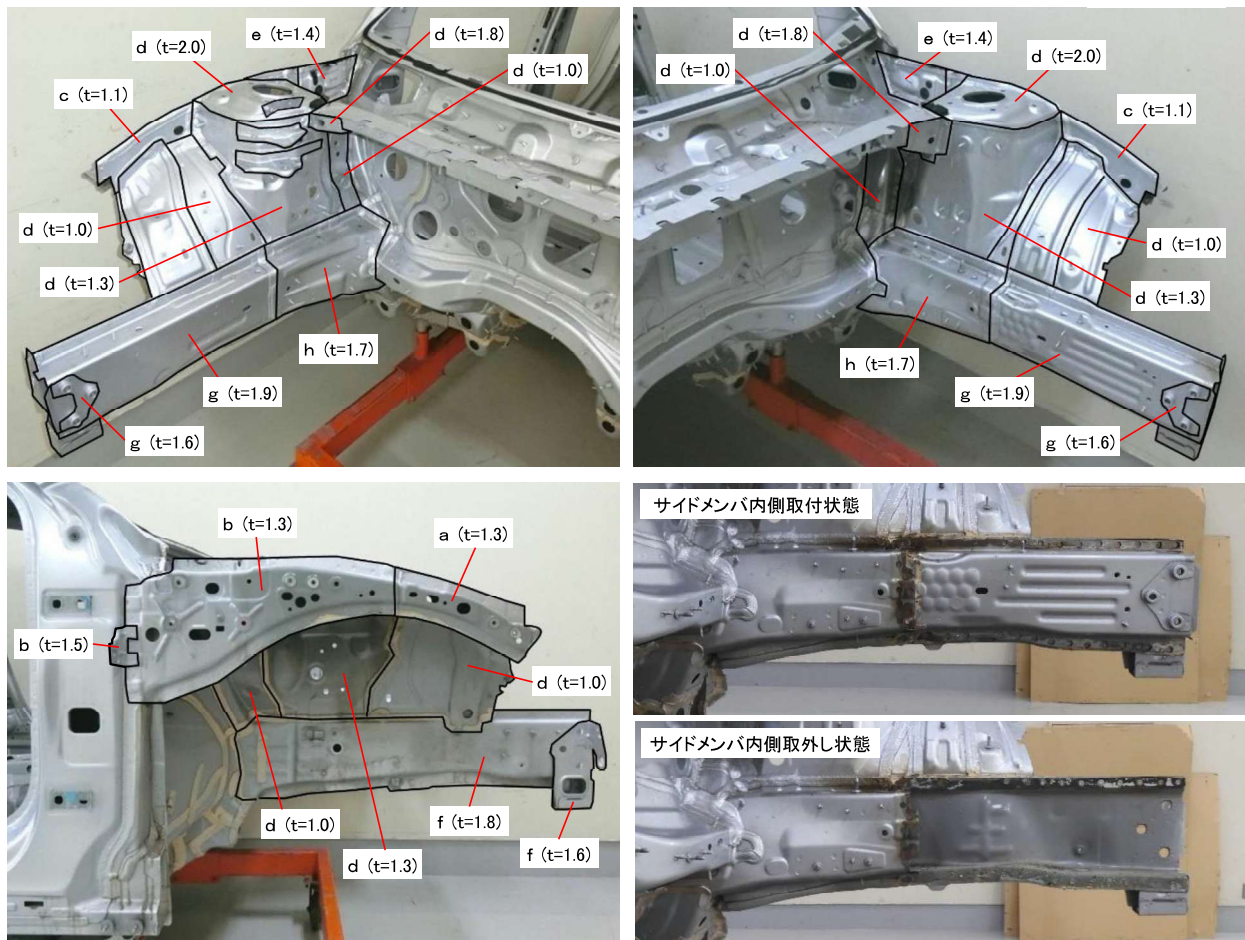
自研センターで調査した 2 代目（W169）とボディサイズを比較すると、代を重ねるごとにワイド＆ローとなっており、ホイールベースを延長して室内空間を広くする傾向にあります。プラットフォームは先代で採用されていた「MFA1」が「MFA2^{※1}」に進化し、更なる構造剛性や衝突強度の強化を実現しています。

（※1） MFA2：前輪駆動用プラットフォーム「Modular Front drive Architecture」の略。メルセデス・ベンツはコンパクトカーの安全性を確保するためにコンパティビリティ（共生）の考え方を 1990 年代に研究。その考え方を基に開発されたのが初代 A クラス（W168 1997 年～2005 年）で「MFA」の安全設計の基となっています。「MFA2」は A クラス以外に B クラス、CLA にも採用されています

本記事では 2019 年モデルの車両を調査した情報を掲載しています。また、板厚については自研センターで調査した結果を参考値として記載しています。

2. フロントボディ構造、補給形態および取替作業

(1) フロントボディ補給形態



【補給部品詳細】 ※補給設定がない部品は通称名を記載しています

記号	部品名	補給	記号	部品名	補給
a	コンソールサイドメンバ	○	e	接続プレート	×
b	フロントアッパサイドメンバ部	×	f	サイドメンバ外側	○
c	ロングチューディナルメンバ	○	g	サイドメンバ内側	○
d	ダンパストラットドーム部	×	h	サイドメンバ内側後部	×

【Assy 部品】

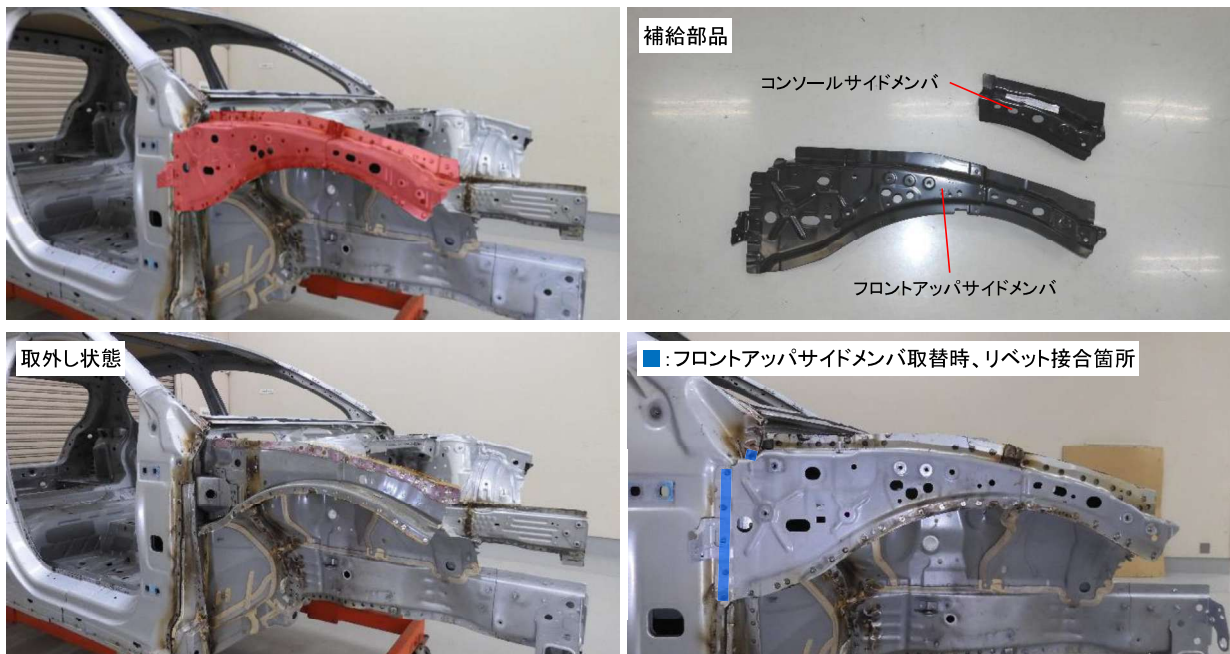
部品名	構成部品	部品名	構成部品
フロントアッパサイドメンバ	a + b	ホイールハウス	c + d + e + f + g
サイドメンバフロントピース*	f + g		

(2) フロントアッパサイドメンバ取替

フロントアッパサイドメンバの補給部品は、Assy 補給のほか前部のみの単品補給（コンソールサイドメンバ）が設定されています。取付作業は溶接およびブラインドリベットにて接合します。

<フロントアッパサイドメンバ取替範囲イメージ>

作業範囲例：フロントアッパサイドメンバ取替（指数項目「B139」）



(3) フロントサイドメンバ取替

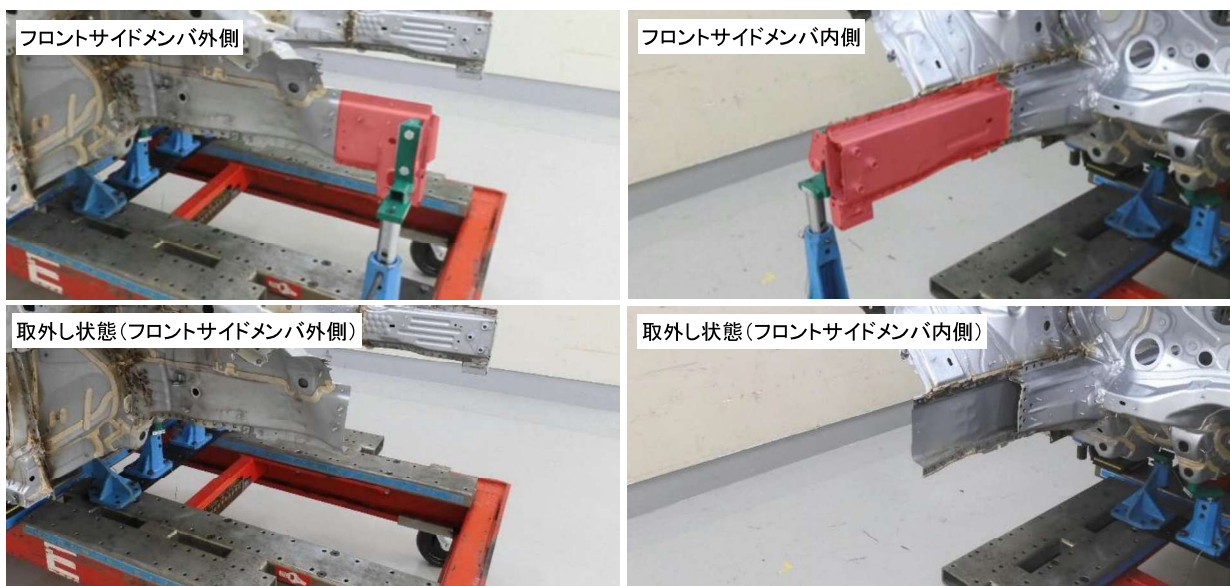
①フロントサイドメンバ半裁取替

フロントサイドメンバ前部の半裁取替用に補給部品（サイドメンバフロントピース）が設定されています。部品はサイドメンバ内側と外側が溶接された状態で補給されます。

サイドメンバ内側は補給部品とおりに溶接点で外し、サイドメンバ外側はカットして取替えます。取付作業は溶接およびブラインドリベットにて接合します。

<フロントサイドメンバ取替範囲イメージ>

作業範囲例①：フロントサイドメンバ半裁取替（指数項目「B172」）

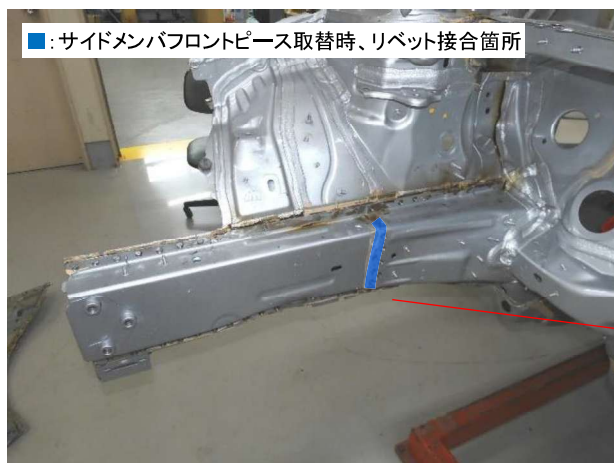




車両側カット位置に合わせてカットします。



車両に取付けられていないパネルを取外します。



②フロントサイドメンバ（Assy）取替

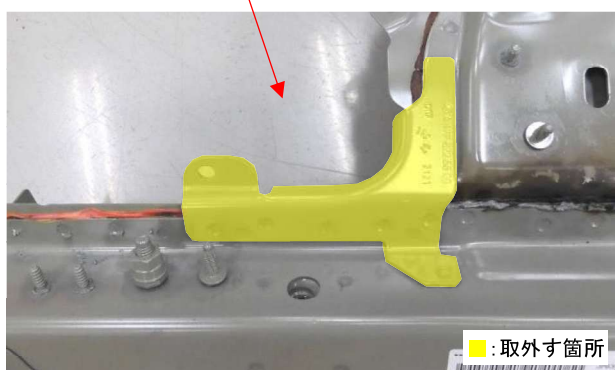
ダンパストラットドーム、サイドメンバ内側および外側が一体の補給部品（ホイールハウス）を使用して取替えます。取付作業は溶接およびブラインドリベットにて接合します。

なお、ダンパストラットドーム部の単品補給は設定されていません。

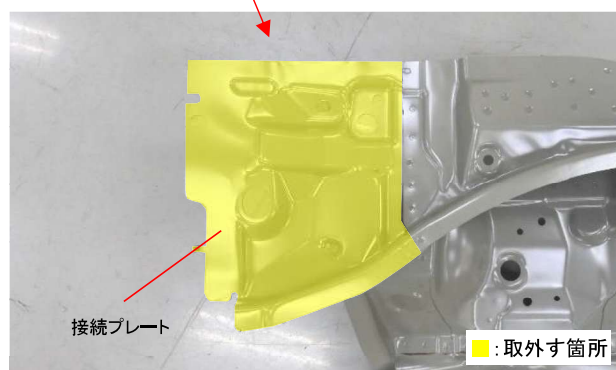
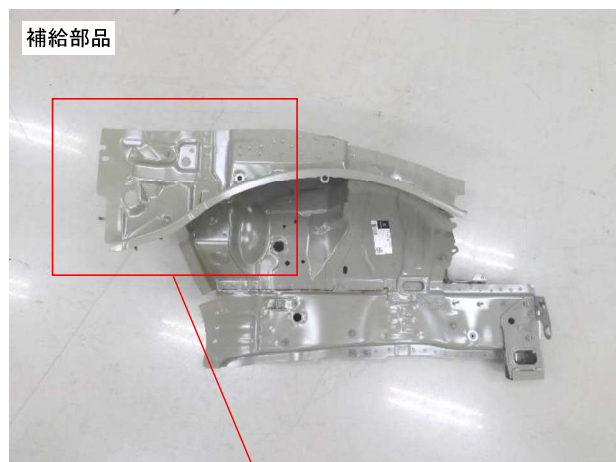
＜フロントサイドメンバ取替範囲イメージ＞

作業範囲例②：フロントサイドメンバ(Assy)取替（指数項目「B170」）





車両に取付けられていないパネルを取外します。



補給部品の後部に取付けられている接続プレートを取外します。

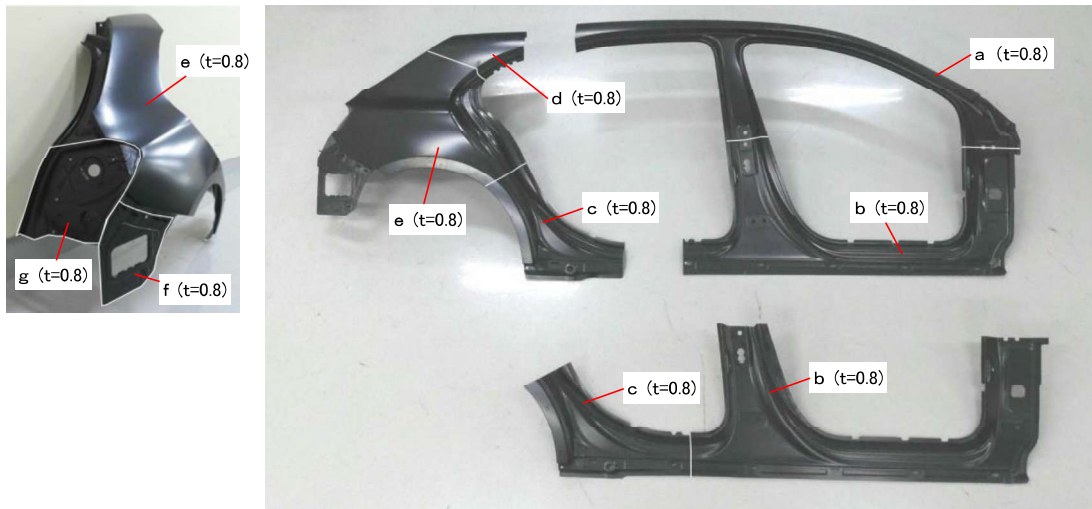
■:ホイールハウス取替時、リベット接合箇所



※ホイールハウスを取替える際のリベット箇所について、フロントアッパサイドメンバ取替のリベット箇所を省略しています。
フロントアッパサイドメンバを同時に取替える場合は、前述(P.4)の「フロントアッパサイドメンバ取替時、リベット接合箇所」を併せてご参照ください。

3. サイドボディ構造、補給形態および取替作業

(1) サイドパネルアウト補給形態



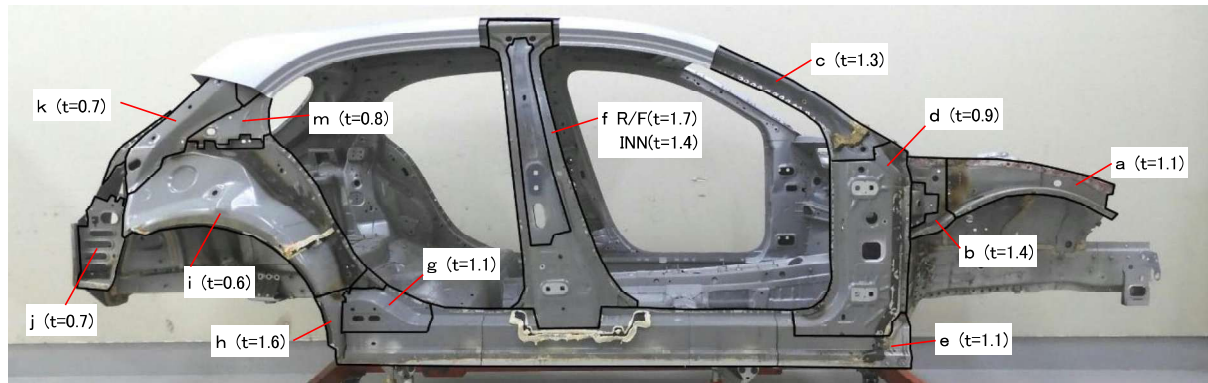
【補給部品詳細】※補給設定がない部品は通称名を記載しています

記号	部品名	補給	記号	部品名	補給
a	サイドウォールパネル上部	×	e	リヤサイドウォール	×
b	サイドウォールパネル外側前部	×	f	接続プレートリヤパネル	○
c	サイドウォールパネル外側後部	×	g	リテーナテールランプ	○
d	リヤサイドウォール上部	×			

【Assy 部品】

部品名	構成部品	部品名	構成部品
サイドウォールパネル	a + b	リヤサイドウォール	c + d + e + f + g
サイドウォールパネル外側	b + c		

(2) インナパネル補給形態



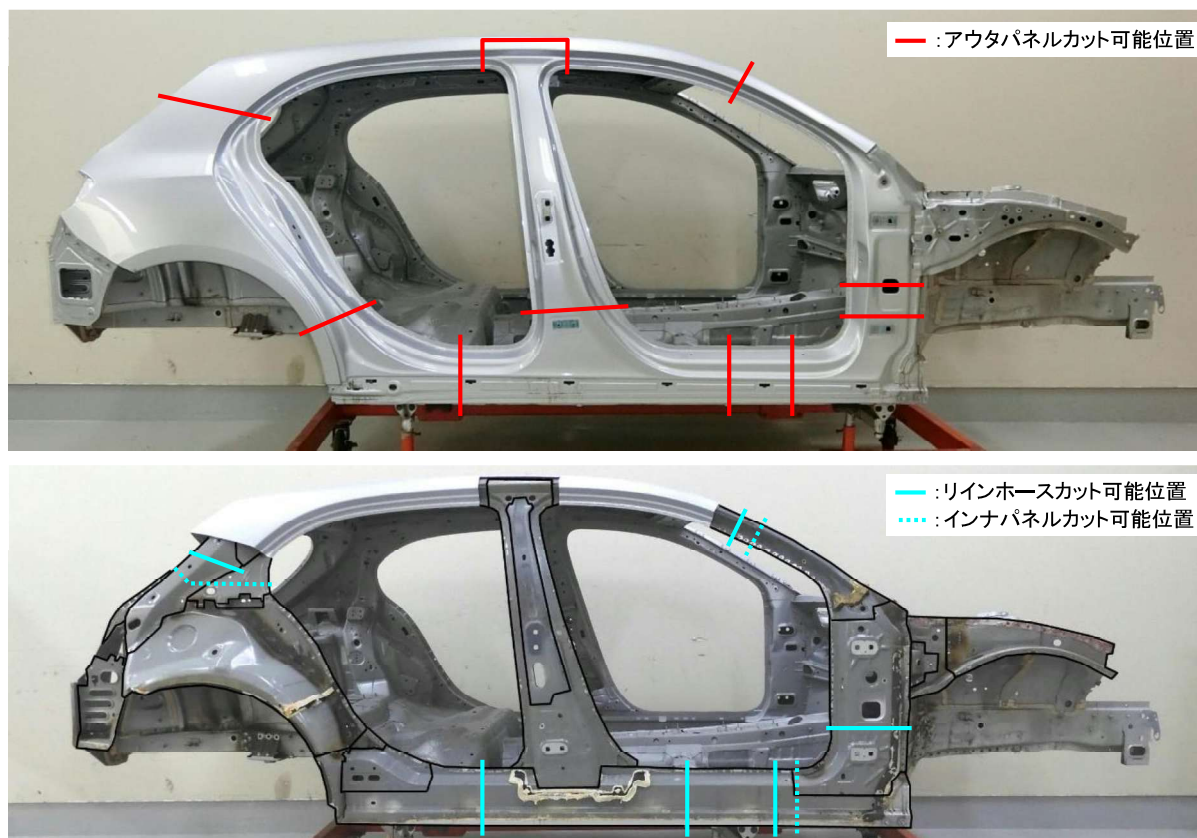
【補給部品詳細】※補給設定がない部品は通称名を記載しています

記号	部品名	補給	記号	部品名	補給
a	ロングチューディナルメンバ	○	g	サイドメンバラインホース後部	×
b	接続プレート	×	h	接続プレート	×
c	Aビラーラインホース上部	×	i	リヤホイールハウス	×
d	Aビラーラインホース下部	×	j	リヤインナCビラー	○
e	サイドメンバラインホース	×	k	Cビラー	○
f	Bビラーラインホース	×	m	Cビラーインナ	×

【Assy 部品】

部品名	構成部品	部品名	構成部品
サイドウォール外側	c + d + e + f + g + h	Cビラーインナ	i + j + k + m
リヤホイールハウス	i + j		

(3) サイドパネルアウタ、リインホース、インナパネルカット位置



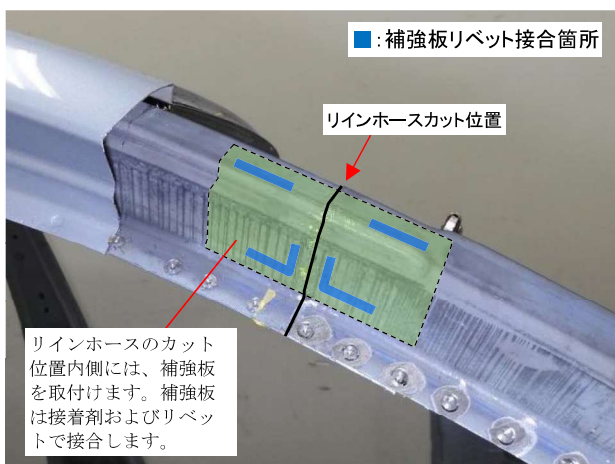
(4) サイドボディ取替作業

① Aピラー取替

Aピラー取替範囲の補給部品が設定されていないため、アウタパネル、リインホース、インナパネル共に、Aピラー～Bピラー～サイドメンバまで含んだ Assy 部品を使用して取替えます。取付作業は溶接およびブラインドリベットにて接合します。

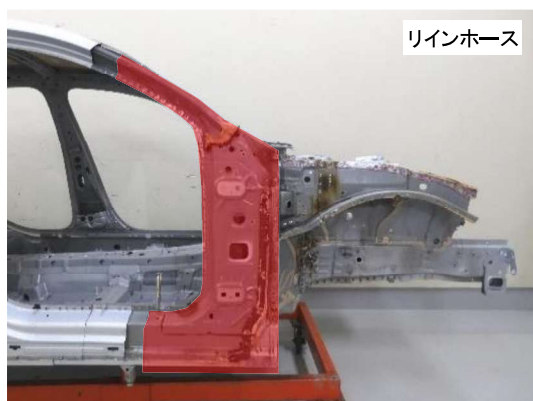
補給部品





＜Aピラー取替範囲イメージ＞

作業範囲例：フロントアップサイドメンバ、Aピラー上部および下部でのカット取替（指数項目「B190」）



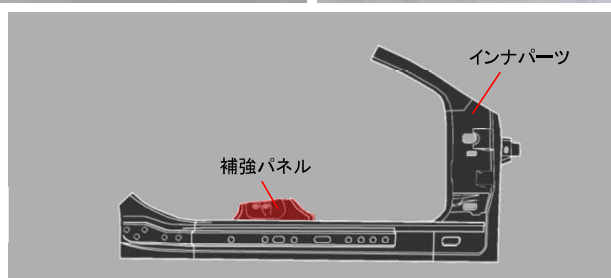
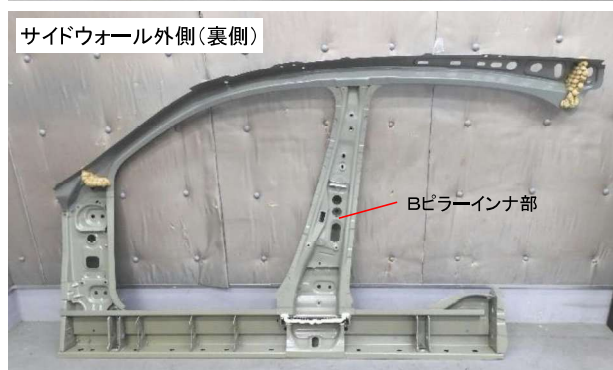
②Bピラーおよびサイドメンバアウト取替

Bピラーのアウタパネルおよびサイドメンバアウト（サイドウォールパネル外側）は、作業範囲に応じて補給部品（サイドウォールパネルまたはサイドウォールパネル外側）を選択して取替えます。また、Bピラーのリインホース、インナおよびサイドメンバリインホースは、各々単品で取替える範囲の補給部品が設定されていないため、Aピラー～Bピラー～サイドメンバのリインホースまでを含んだ Assy 部品（サイドウォール外側）を使用して取替えます。

更に、補強パネルまで取替える場合はAピラー～サイドメンバのインナまでを含んだ Assy 部品（インナパーツ）を使用して取替えます。サイドウォール外側には、Bピラーのリインホースとインナが取り付けられていますが、Bピラーインナ下部の補強パネルは取り付けられていません。

取付作業は溶接およびブラインドリベットにて接合します。

補給部品



■: Bピラー、サイドシルアウト取替時、リベット接合箇所



■: Bピラーリインホース取替時、リベット接合箇所

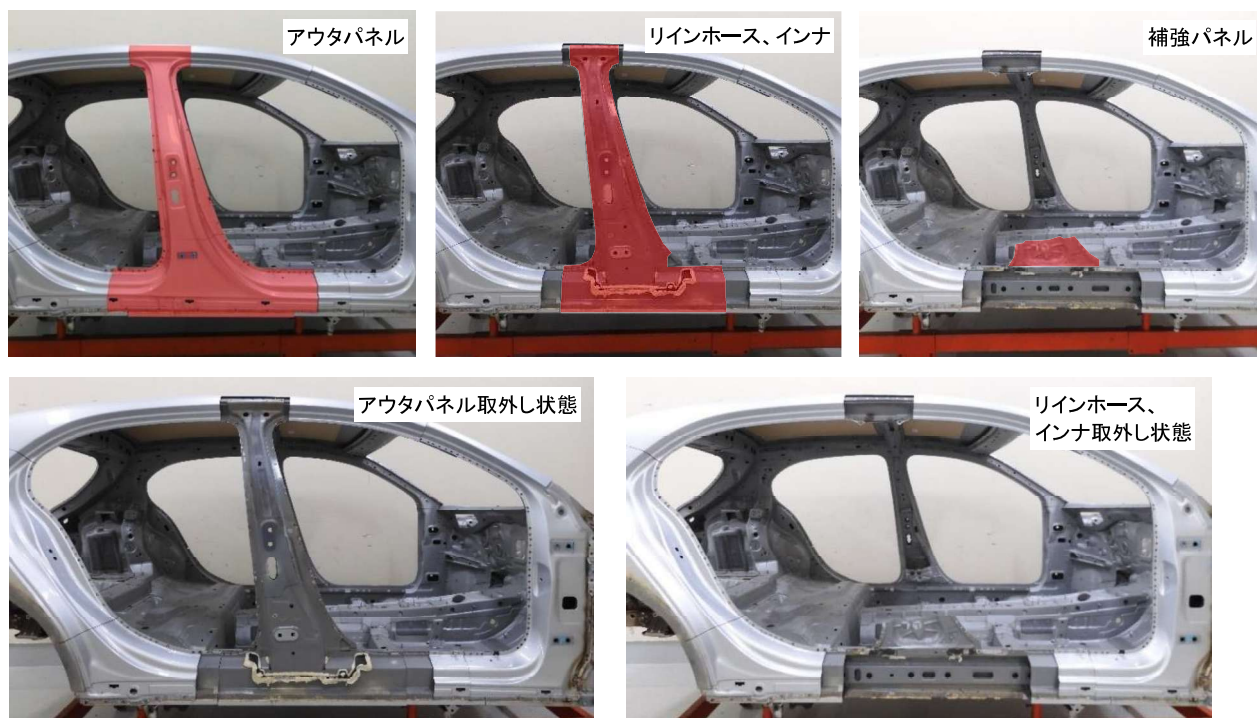


■: 補強パネル取替時、リベット接合箇所



＜Bピラーおよびサイドメンバアウト取替範囲イメージ＞

作業範囲例①：Bピラー上部および前後でのカット取替（指数項目「B230」）



作業範囲例②：サイドメンバアウト Bピラー下部および前後部でのカット取替（指数項目「B240」）



作業範囲例③：サイドメンバアウト Aピラー下部、Bピラー下部、Cピラー下部でのカット取替（指数なし）



作業範囲例③の追加作業範囲（指数なし）



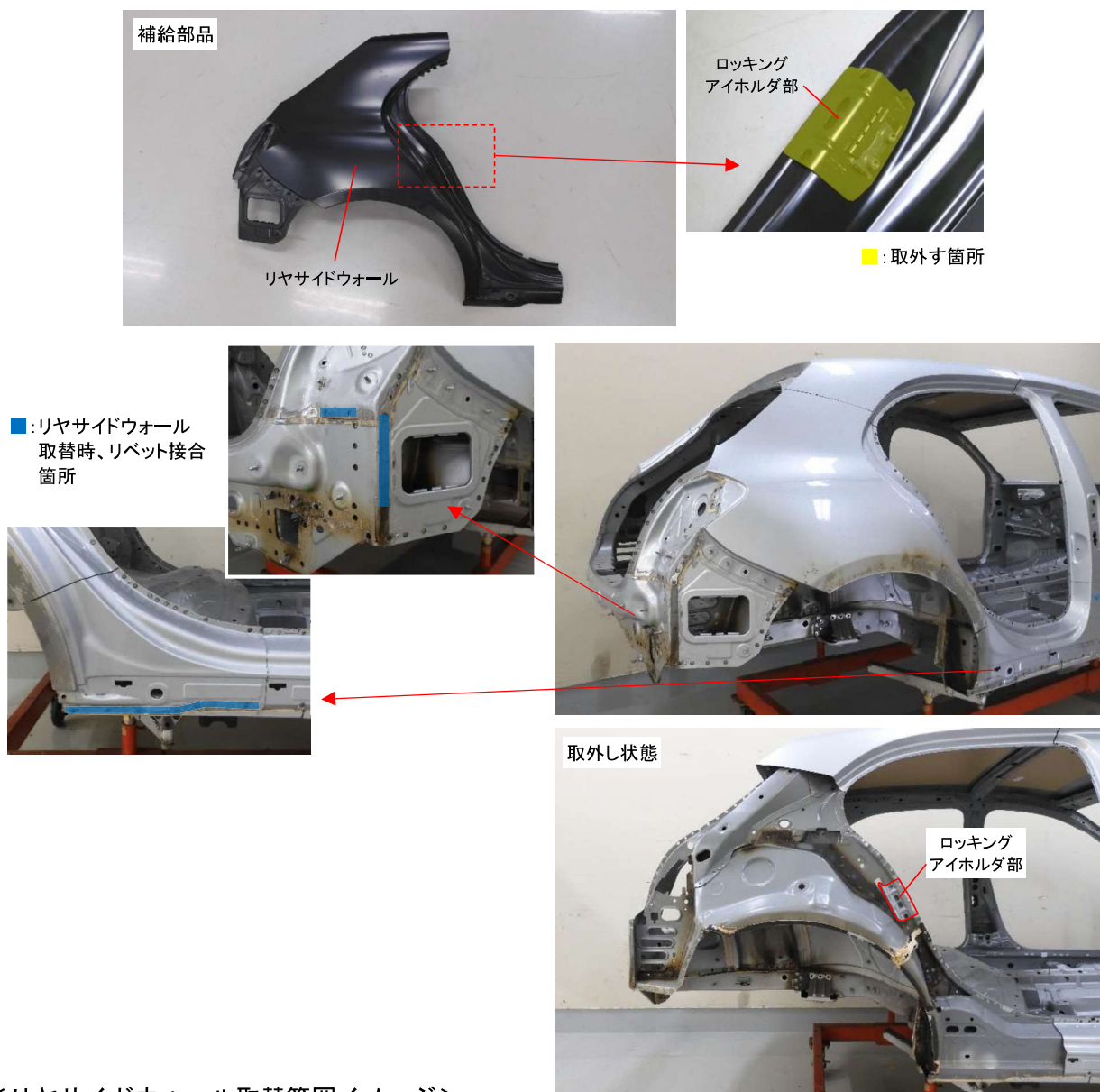
作業範囲例④：サイドメンバアウト後部(ロックピラー部)カット取替（指数項目「B266」）



③リヤフェンダ取替

リヤフェンダ（リヤサイドウォール）を取外す際、ロックングアイホルダ部はボディ側に残します。部品を取付ける際は補給部品のリヤサイドウォールからロックングアイホルダ部を取外します。取付作業は溶接およびブラインドリベットにて接合します。

なお、リヤホイールハウスを同時に取替える場合は、ロックングアイホルダ部を補給部品に取付けられている状態でリヤサイドウォールと共に取替えます。



＜リヤサイドウォール取替範囲イメージ＞

作業範囲例：リヤサイドウォール上部および下部でのカット取替（指数項目「B270」）



④リヤホイールハウスアウト取替

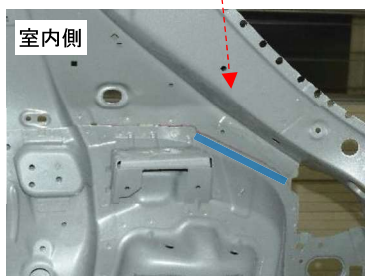
リヤホイールハウスアウトは補給形態どおりに取替えます。取付作業は溶接およびブラインドドリベットにて接合します。

本車両はフューエルフィラリッドが左側にあるため、右側のリヤホイールハウスアウトにはフューエルフィラリッド用の穴が開いていません。しかし、購入した右側の補給部品には穴が開いており、その穴を塞ぐためのプレートが取付けられていました。



<リヤホイールハウスアウト取替範囲イメージ>

作業範囲例：リヤホイールハウスアウト取替（指数項目「B280」）

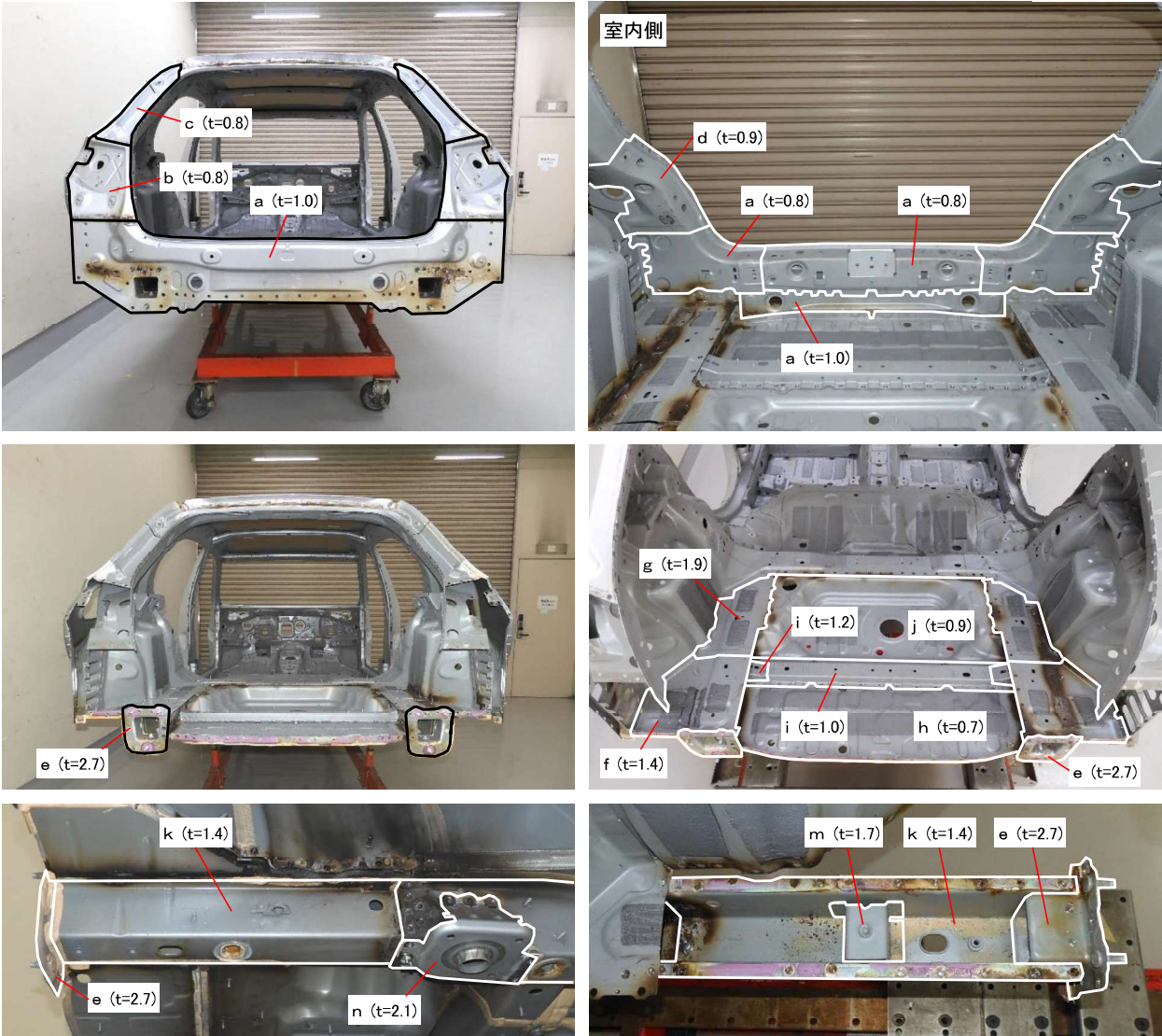


■:リヤホイールハウスアウト取替時、リベット接合箇所

4. リヤボディ構造、補給形態および取替作業

(1) バックパネル、リヤフロア、リヤサイドメンバ補給形態

t:板厚 (mm)



【補給部品詳細】 ※補給設定がない部品は通称名を記載しています

記号	部品名	補給	記号	部品名	補給
a	リヤセンタピース	○	h	リヤラゲッジルームリセス	○
b	リテーナテールランプ	○	i	リヤアクスルメンバフロントリヤエンドフロア	○
c	リヤサイドウォールトルーフ	×	j	フロントラゲッジルームリセス	○
d	Cピラーインナロア	×	k	リヤサイドメンバ	×
e	バンパブラケット	×	m	リヤサイドメンバラインホース	×
f	サイドメンバカバーリヤ	○	n	リテーナ	○
g	サイドメンバカバーフロント	○			

【Assy 部品】

部品名	構成部品
リヤサイドメンバ	e + k + m

（２）リヤボディ取替作業

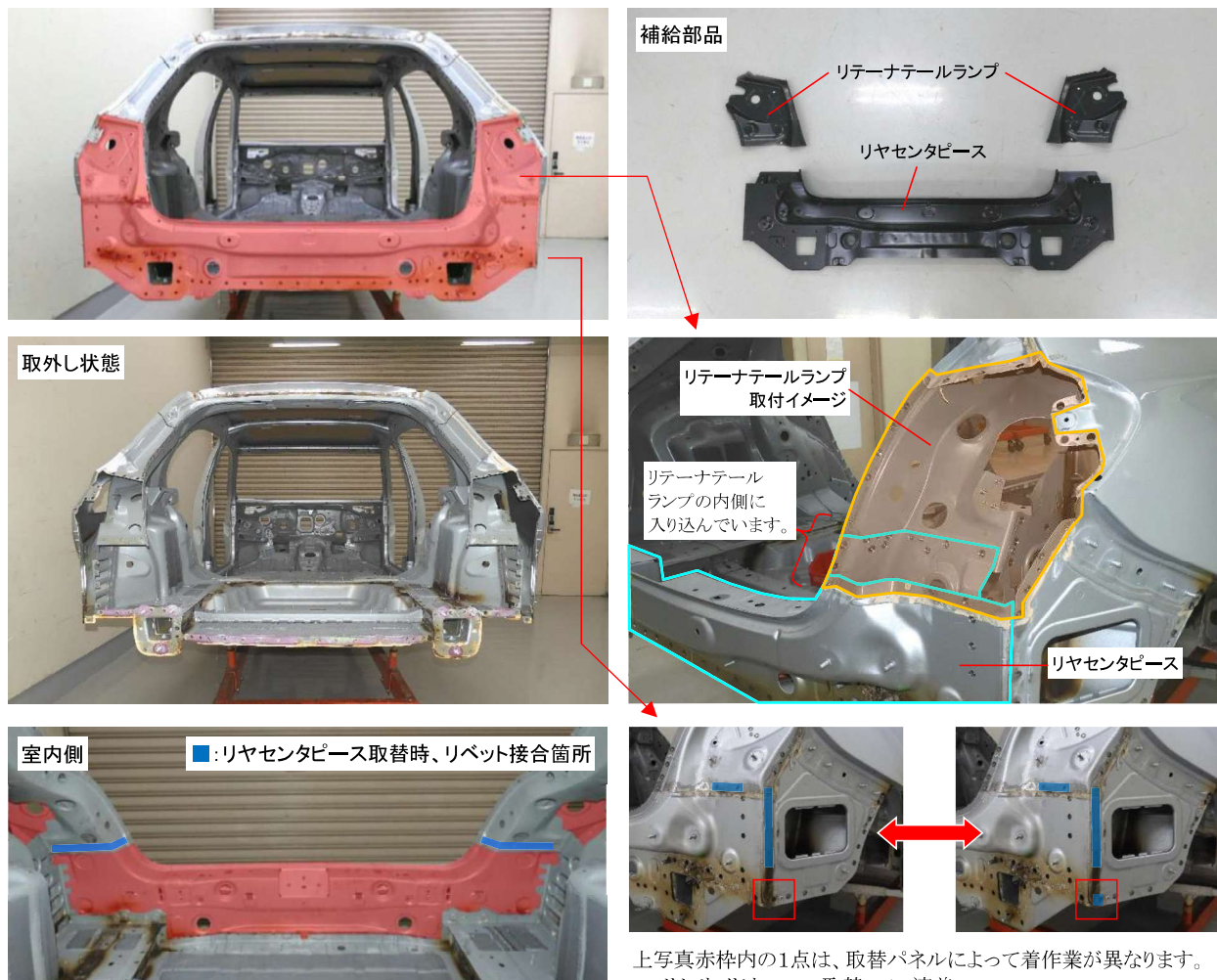
①リヤセンタピース取替

リヤセンタピースはアウタパネルとインナパネルが Assy 補給です。両端部がリテーナテールランプの内側に入り込んでいるため、両側リテーナテールランプの取外しが必要です。

取付作業は溶接およびブラインドリベットにて接合します。

<リヤセンタピース取替範囲イメージ>

作業範囲例：リヤセンタピース、両側リテーナランプ取替（指数項目「B290」）



上写真真赤枠内の1点は、取替パネルによって着作業が異なります。

- ・リヤサイドウォール取替 ⇒ 溶着
- ・リヤセンタピース取替 ⇒ リベット着
- ・リヤセンタピース、リヤサイドウォール同時取替 ⇒ リベット着

②ラゲッジルームリセス取替

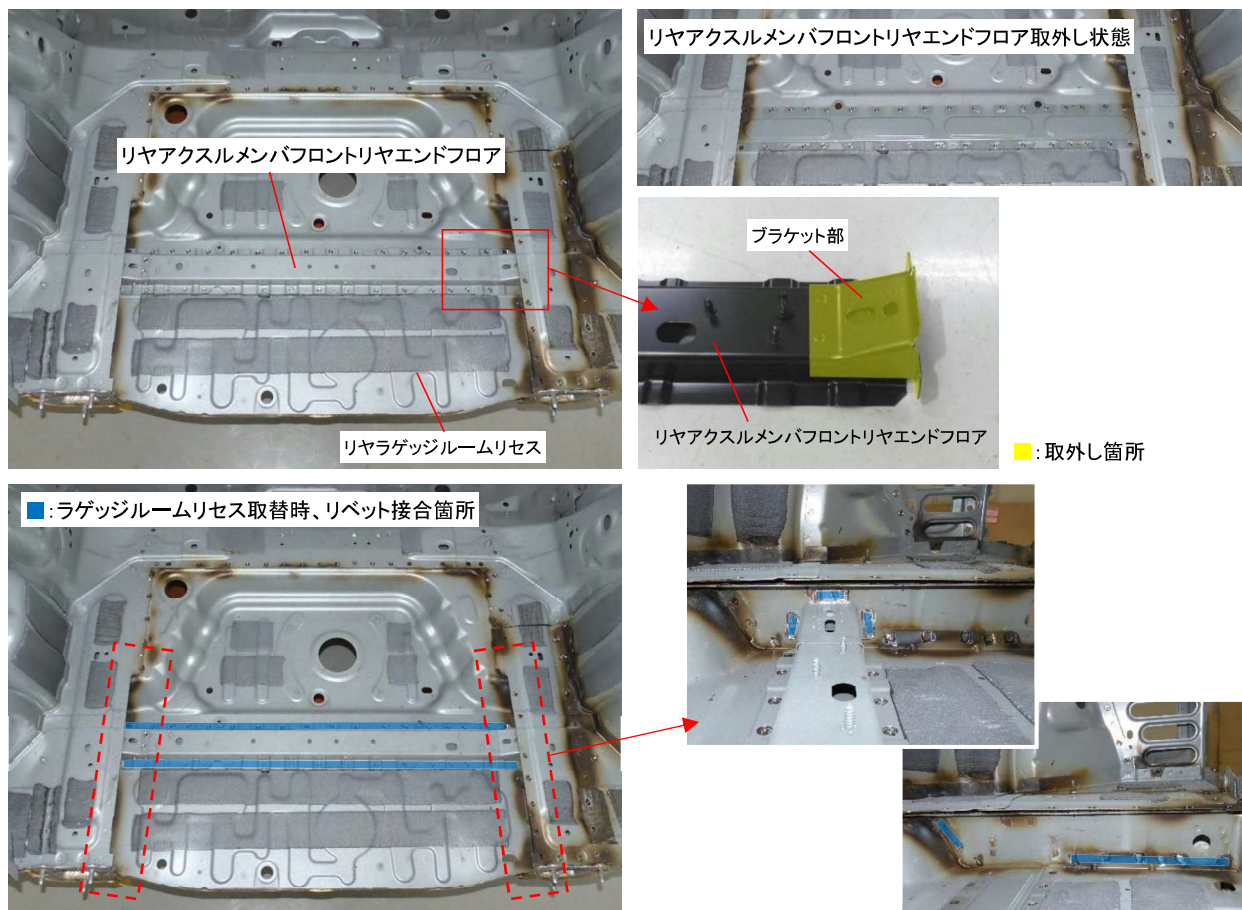
リヤフロア（ラゲッジルームリセス）は前後に分割されており、単品での部品補給が設定されています。



リヤラゲッジルームリセスを取替える際、前部がリヤアクスルメンバフフロントリヤエンドフロアの下に入り込んでいるため、リヤアクスルメンバフフロントリヤエンドフロアを取外します。

リヤアクスルメンバフフロントリヤエンドフロアを取付ける際、補給の形状ではボディに入れることができないため、補給部品から片側のブラケット部を一旦取外します。

取付作業は溶接およびブラインドリベットにて接合します。

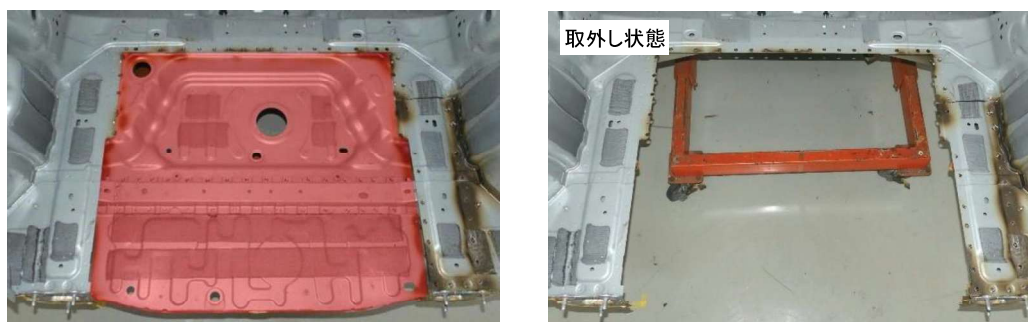


＜ラゲッジルームリセス取替範囲イメージ＞

作業範囲例①：リヤラゲッジルームリセス取替（指数項目「B326(1)」）



作業範囲例②：リヤラゲッジルームリセス、フロントラゲッジルームリセス取替（指数項目「B326(2)」）

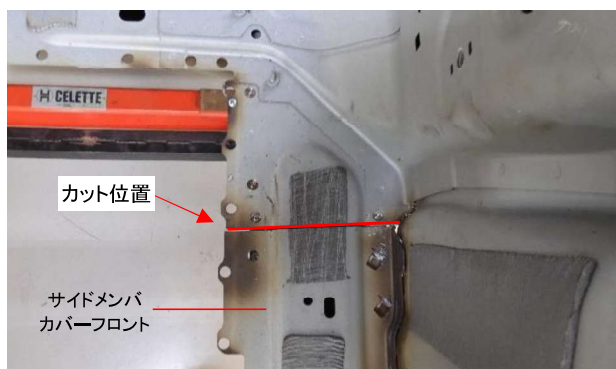
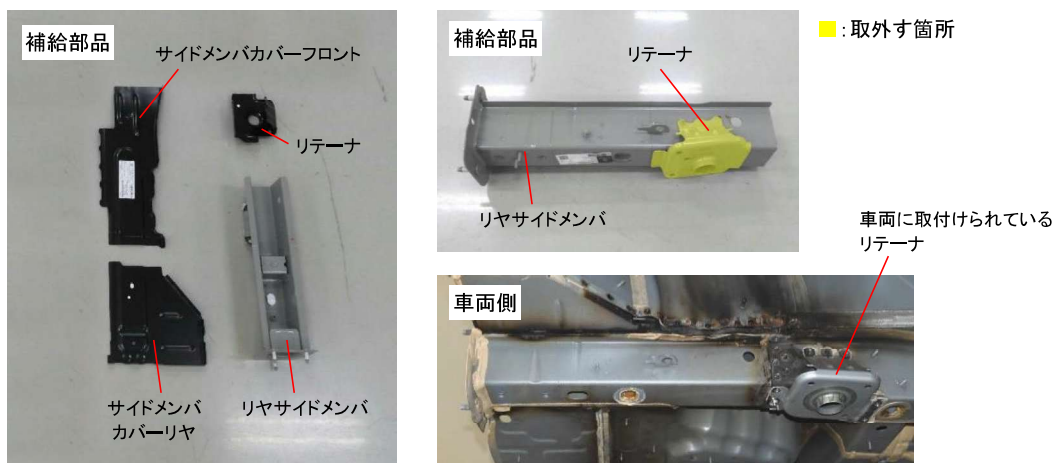


③リヤサイドメンバ取替

リヤサイドメンバは後部取替用の補給部品が設定されています。

リヤサイドメンバの補給部品にはリテーナが取り付けられた状態で補給されますが、車両側の部品とは形状が異なります。そのため、リヤサイドメンバの補給部品からリテーナを取外して単品補給部品のリテーナに付け替えます。

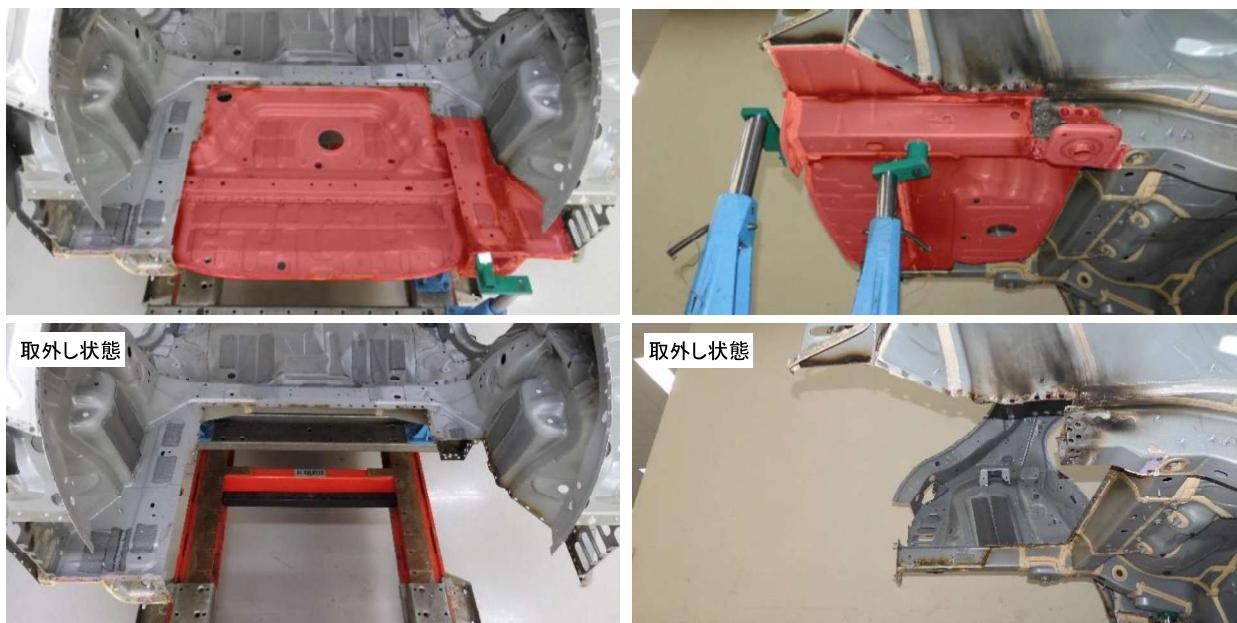
取付作業は溶接およびブラインドリベットにて接合します。



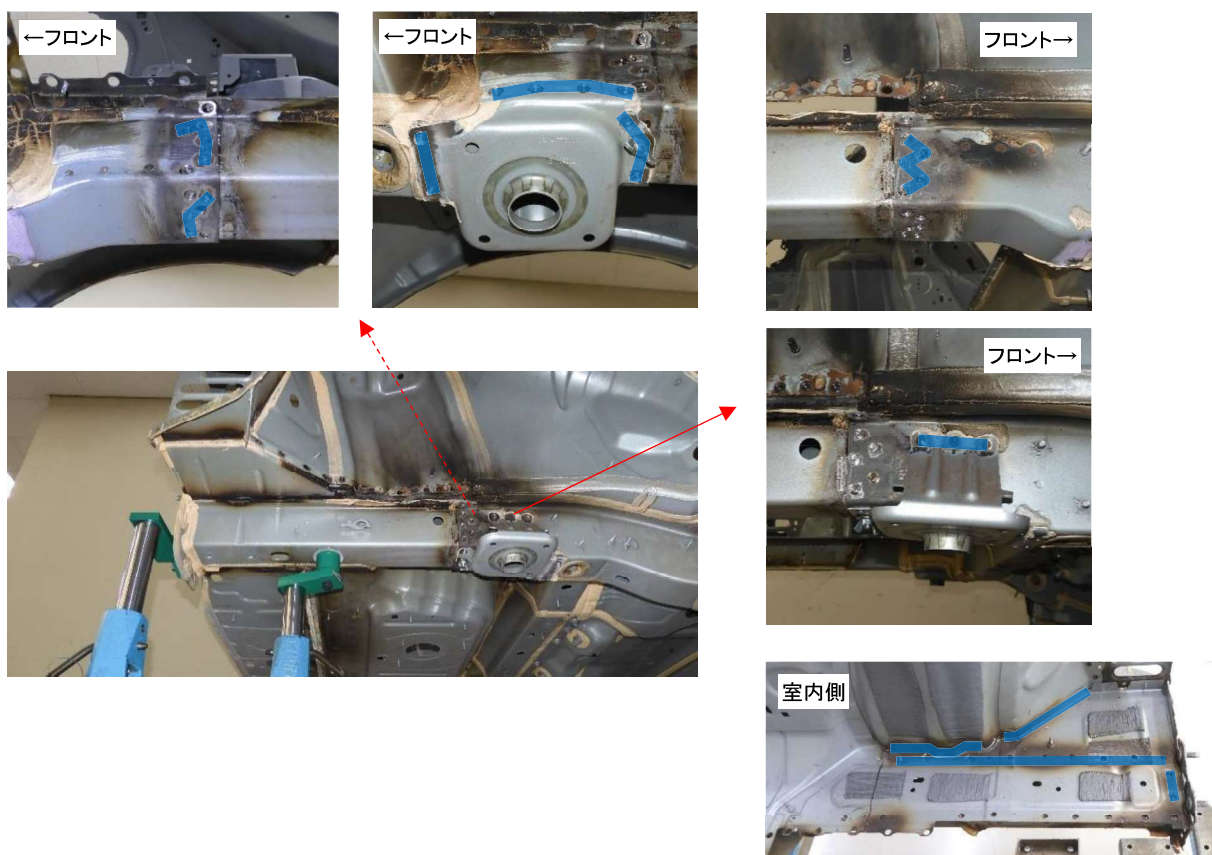
サイドメンバカバーフロントは前部が車両側部品の下に入り込んでいるため、左写真の位置でカットして取替えます。

<ラゲッジルームリセス、リヤサイドメンバ取替範囲イメージ>

作業範囲例：リヤラゲッジルームリセス、フロントラゲッジルームリセス、片側リヤサイドメンバ取替（指数項目「B342」）



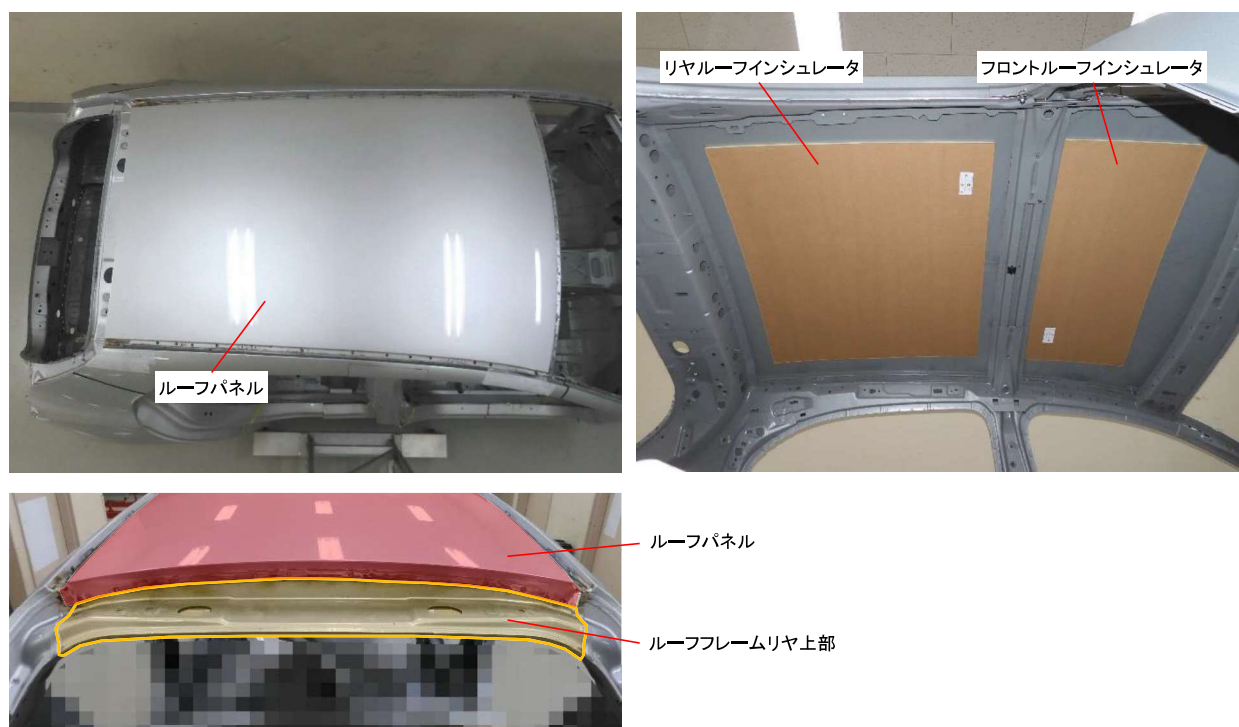
■: リヤサイドメンバ取替時、リベット接合箇所



5. ルーフ構造、補給形態および取替作業

(1) ルーフ構造、補給形態

ルーフパネル後部のバックドア取付部（ルーフフレームリヤ上部）は別の補給部品です。



（２）ルーフ取替作業

ルーフパネル全周が溶接で取付けられています。取付ける際は溶接で接合します。

＜ルーフパネル取替範囲イメージ＞

作業範囲例：ルーフパネル取替（指数項目「B260」）



6. まとめ

今回紹介した内容は、イヤーモデルにより構造が異なる場合がありますのでご注意くださいとともに、損傷見積りなどにおいては現車および最新の情報をご確認ください。

また、メルセデス・ベンツ日本株式会社では、修理の際に使用するテストや SSTなどを指定しているため、該当部位の損傷が確認された場合は「認定ボディショップ」への入庫を推奨しています。

なお、2022年7月発刊の構造調査シリーズ NoJ-912「メルセデス・ベンツ Aクラス（A180 スタイル）（177084）」では今回の情報を含め掲載しておりますので、併せてご活用ください。

JKC

ニッサン サクラ (B6AW) 構造調査

1. はじめに

2022年6月に、日産自動車株式会社から発売されたサクラ(B6AW)についてフロント構造とリヤ構造の調査結果の一部をプラットフォームが類似しているデイズ(B44W)との比較を交えて紹介します。



2. フロント構造

(1) フロントバンパ

サクラ(B6AW)のフロントバンパは、カラード部のフロントバンパフェーシアと素地部のフロントバンパラジエータグリル、フロントバンパロアフェーシア、フォグランプフィニッシャおよびゴム製のスポイラで構成され、各々補給部品の設定があり損傷に応じた修理作業が可能です。

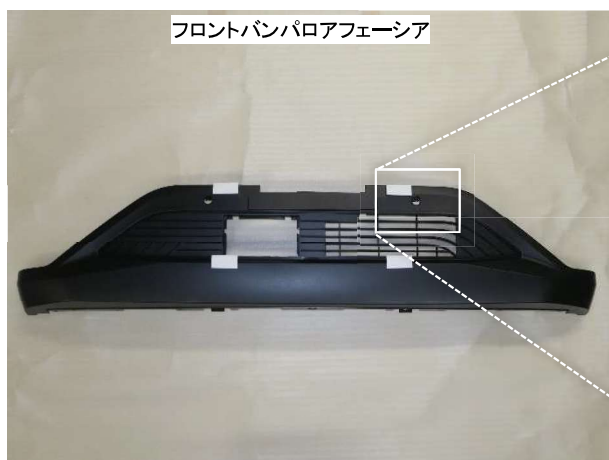
2トーンカラー仕様の場合もホイールアーチ部は素地ではなくカラードのため、補修塗装が行いやすく修理性は良好と言えます。補修塗装の見切り線など詳しくは、カーメーカ発行の新型車解説を確認してください。



(2) ディスタンスセンサ A s s y

障害物を感知するディスタンスセンサ Assy は、プロパイロットパーキング装備の有無で取付数が異なります。フロントバンパフェーシア脱着やディスタンスセンサ Assy 取替を行ってもエーミング作業の必要はありません。

なお、ディスタンスセンサ Assy を取付けるカバーはフロントバンパフェーシアやフロントバンパロアフェーシアと一体で補給されます。



(3) アンビエントセンサ A s s y

デイズ(B44W)のアンビエントセンサ Assy は、フロントバンパレインフォース Assy に取付けられています。ボデー側のコネクタが損傷を受けた場合は、コネクタの単品補給設定がないためエンジンルームハーネスが必要となります。

一方、サクラ(B6AW)のアンビエントセンサ Assy は、フロントバンパフェーシアに取付けられています。ハーネス側のコネクタが損傷を受けた場合は、サブフロントバンパハーネスで取替えることができるため修理性は良好と言えます。

デイズ(B44W)



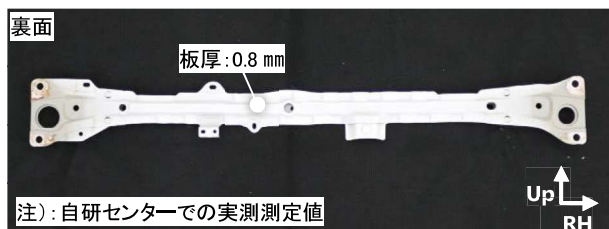
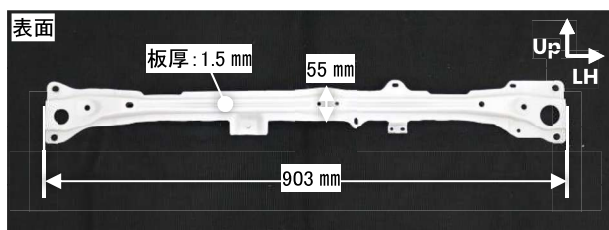
サクラ(B6AW)



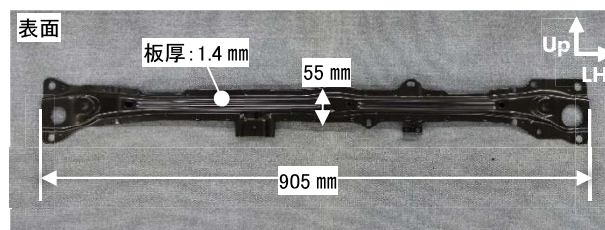
(4) フロントバンパレインフォース A s s y

サクラ(B6AW)のフロントバンパレインフォース Assy は、デイズ(B44W)と同様に鋼板製で2枚のパネルを重ね合わせた構造です。

デイズ(B44W)



サクラ(B6AW)



(5) ディスタンスセンサユニット

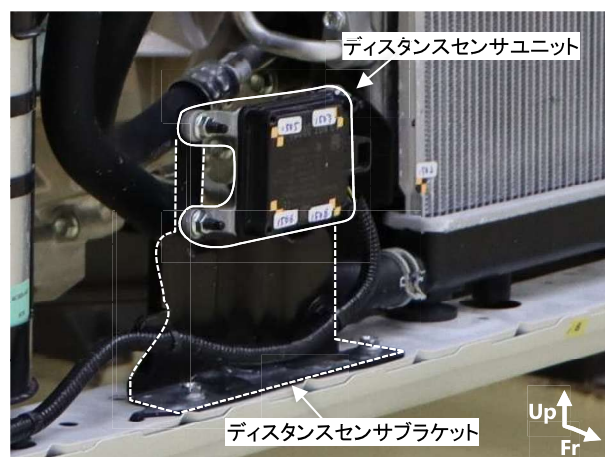
デイズ(B44W)のインテリジェントエマージェンシーブレーキは、レーンキープカメラ Assy で車両や歩行者の有無を検知し距離を測定しています。一方、サクラ(B6AW)はレーンキープカメラ Assy の他にディスタンスセンサユニットでも先行車の有無や先行車との距離を反射波で検出しています。ディスタンスセンサユニットは、ディスタンスセンサブラケットを介してラジエータコアロアサポート Assy に取付けられています。

デイズ(B44W)



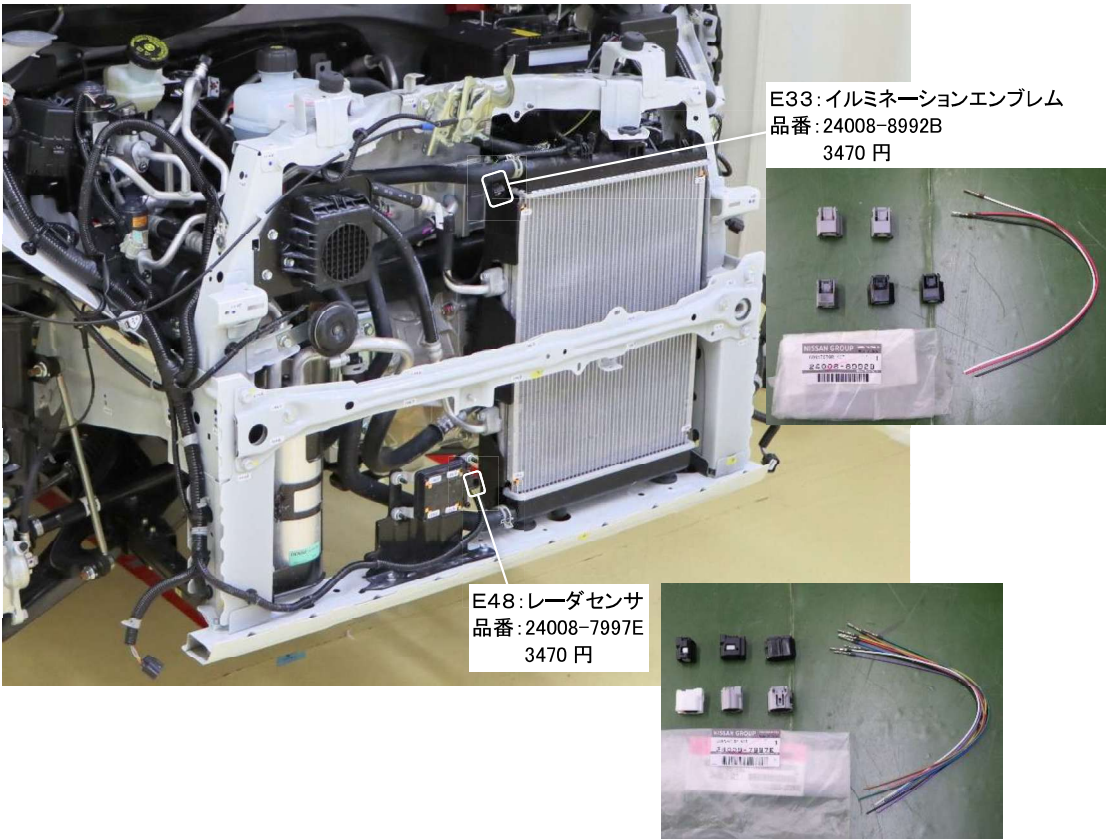
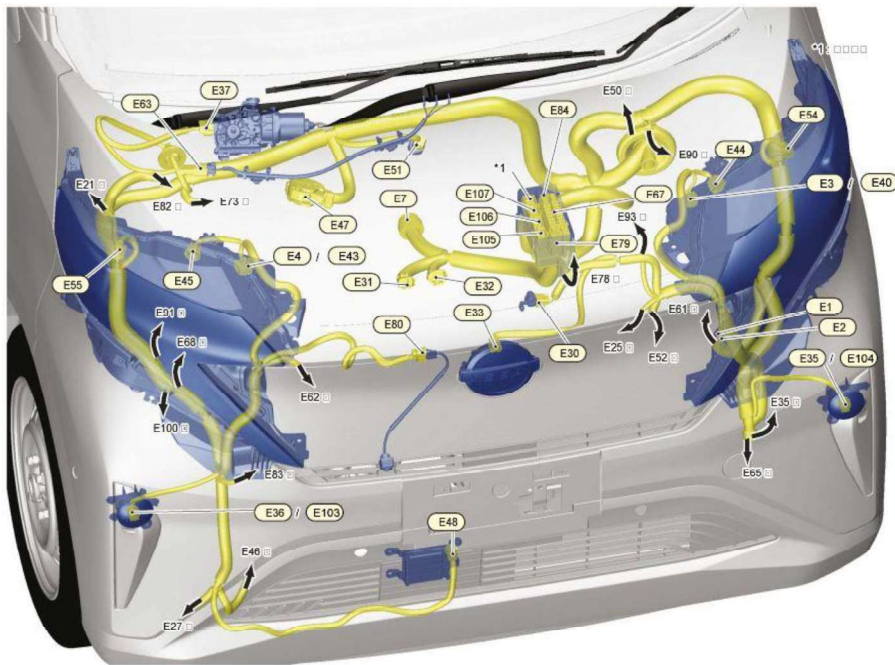
注：調査車両は 2019 年式でレーンキープカメラ Assy のみですが、2022 年式のデイズ(B44W)はレーンキープカメラ Assy とディスタンスセンサユニットが装備されています。

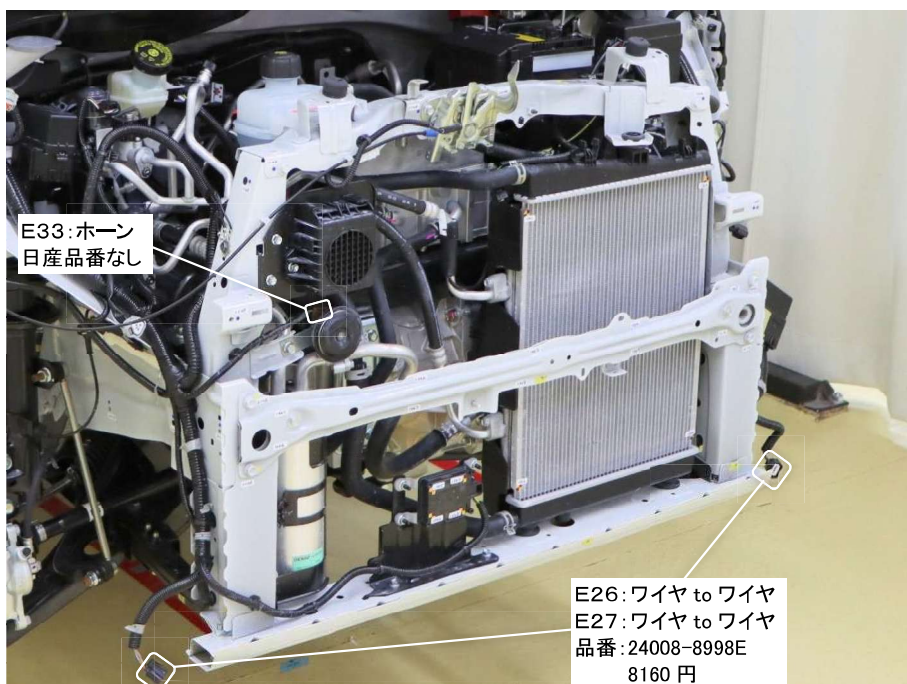
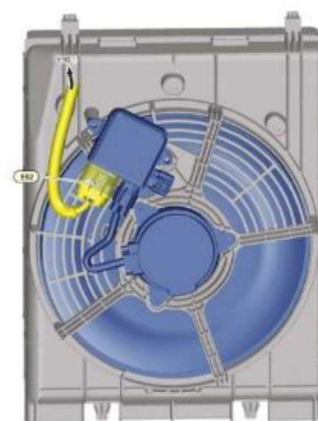
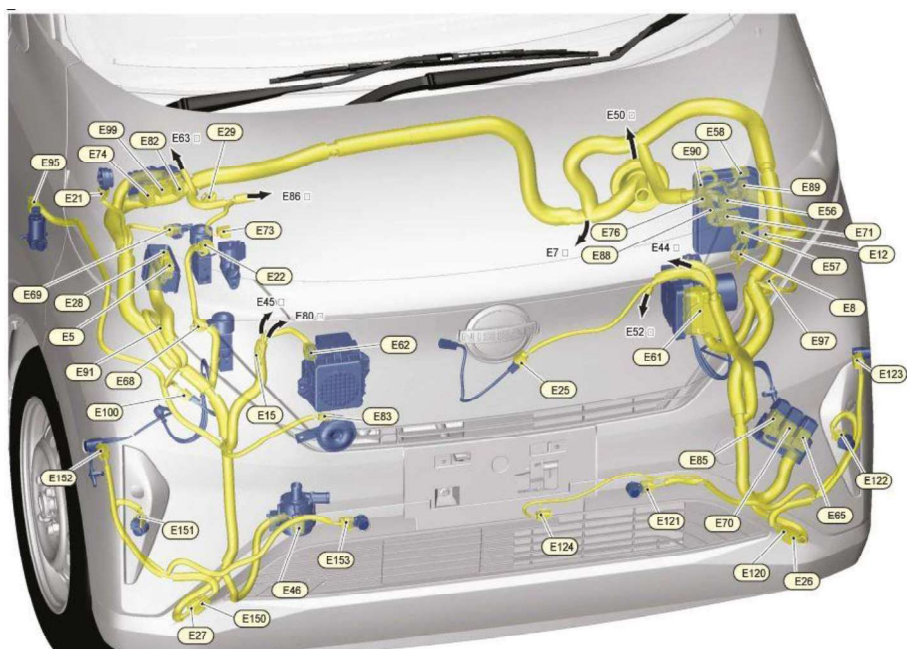
サクラ(B6AW)



(6) モーターームハーネス

サクラ(B6AW)のモーターームハーネスのコネクタは、パーツカタログ(2022 年 12 月現在)に掲載されていません。今回、一部のコネクタについて電子配線図からコネクタ番号を検索しコネクタキットを確認したので紹介します。





E52:クーリングファン
コントロールモジュール
品番: 24008-7999B
3470 円



(7) ラジエータコアサポート周辺

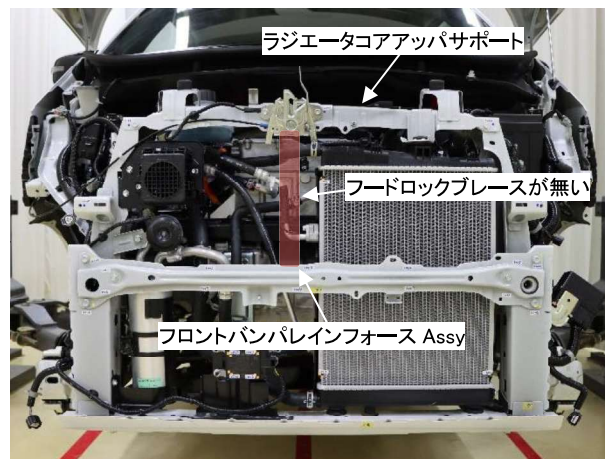
サクラ(B6AW)、デイズ(B44W)のラジエータコアサポート周辺の構成は、類似しています。

フードロックブレースがないため、フロントバンパレインフォース Assy からラジエータコアアッパサポートへ波及損傷しにくい構造です。

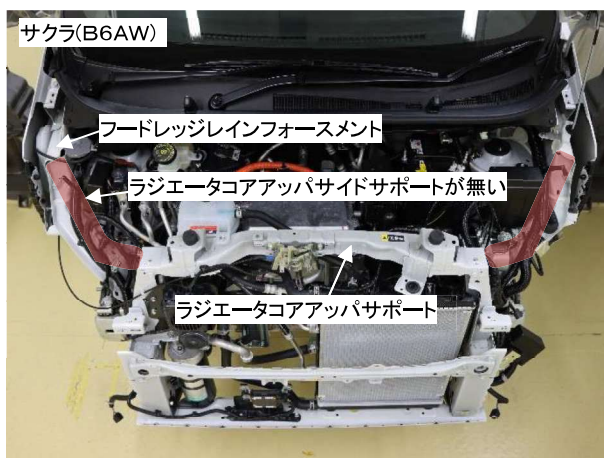
デイズ(B44W)



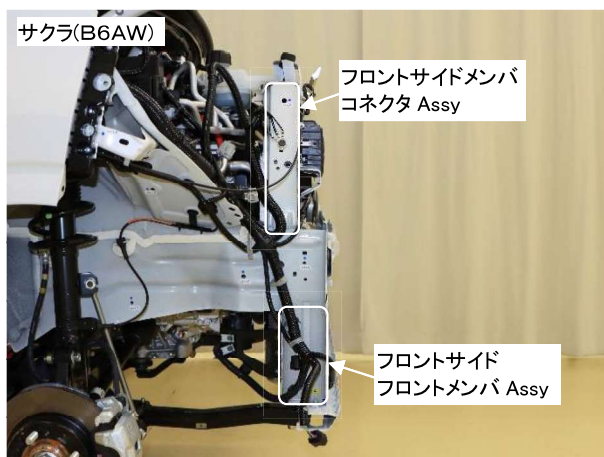
サクラ(B6AW)



また、ラジエータコアアッパサイドサポートもないため、ラジエータコアアッパサポートからフードレッジレインフォースメントへ波及損傷しにくい構造です。



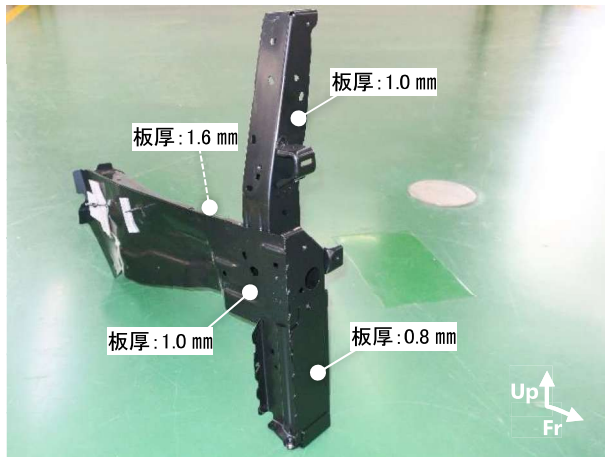
ラジエータコアサイドサポートを担うフロントサイドメンバコネクタ Assy およびフロントサイドフロントメンバ Assy は、サイドフロントメンバを境に分かれて取付けられています。分割されていることからどちらかが損傷を受けても、もう一方へは波及損傷しにくいと考えられます。



(8) サイドフロントメンバ Assy

サクラ(B6AW)のサイドフロントメンバ Assy は、デイズ(B44W)と同様に引張り強さ 780MPa で構成も類似しています。サクラ(B6AW)の方が車両重量が重いため、同一速度で衝突入力を受けた場合は損傷に違いが出ると考えられます。

デイズ(B44W)

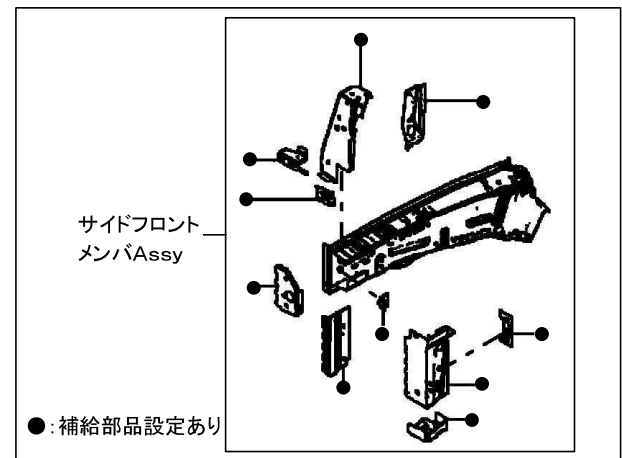


注): 自研センターでの実測測定値

サクラ(B6AW)



サイドフロントメンバ Assy は、車体修復要領書に半裁取替の記載があります。サイドフロントメンバ Assy 先端部が単品での補給部品設定があり、極低速衝突時での修理性も良好と言えます。

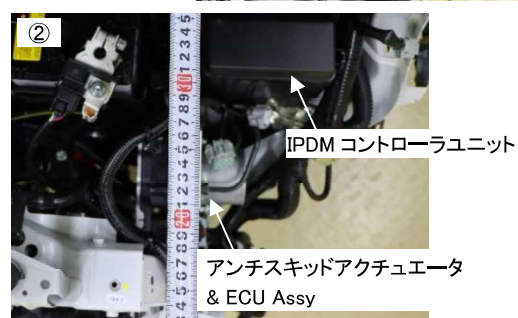


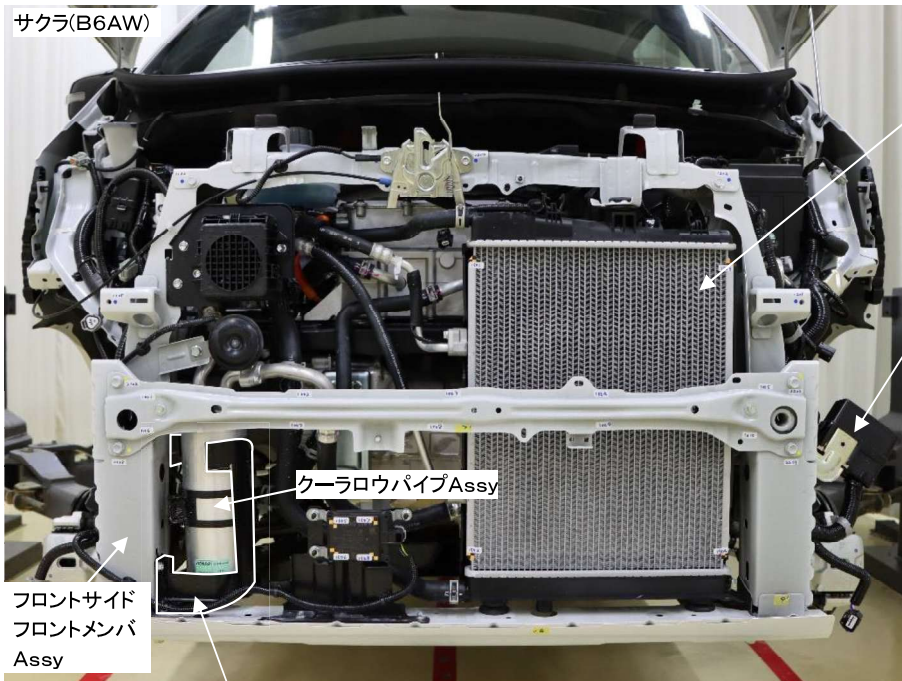
詳しくは、3月号のサクラ(B6AW)の前部損傷の復元修理を参照してください。

(9) モータールーム

サクラ(B6AW)のモータールームは、ヘッドランプ Assy 取付状態では確認しづらいですが右ヘッドランプ Assy 周辺には、リレーボックスやフロントクーラハイ A パイプ、エクспанションバルブコネクタなどが配置され、左ヘッドランプ Assy 周辺には、IPDM コントローラユニットやアンチスキッドアクチュエータ&ECU Assy など配置されています。

下記の①～③の拡大写真にエンジンルーム内の部品間の距離を示しました。損傷診断時の参考として活用ください。





(10) ラジエータ A s s y

ラジエータ Assy は、コンデ
ンサ&リキッドタンク Assy
前面に取付けられています。

(11) リレーボックス

損傷を受けやすい位置に取
付けられていますが、カバー
やハウジングに単品補給部
品設定があります。

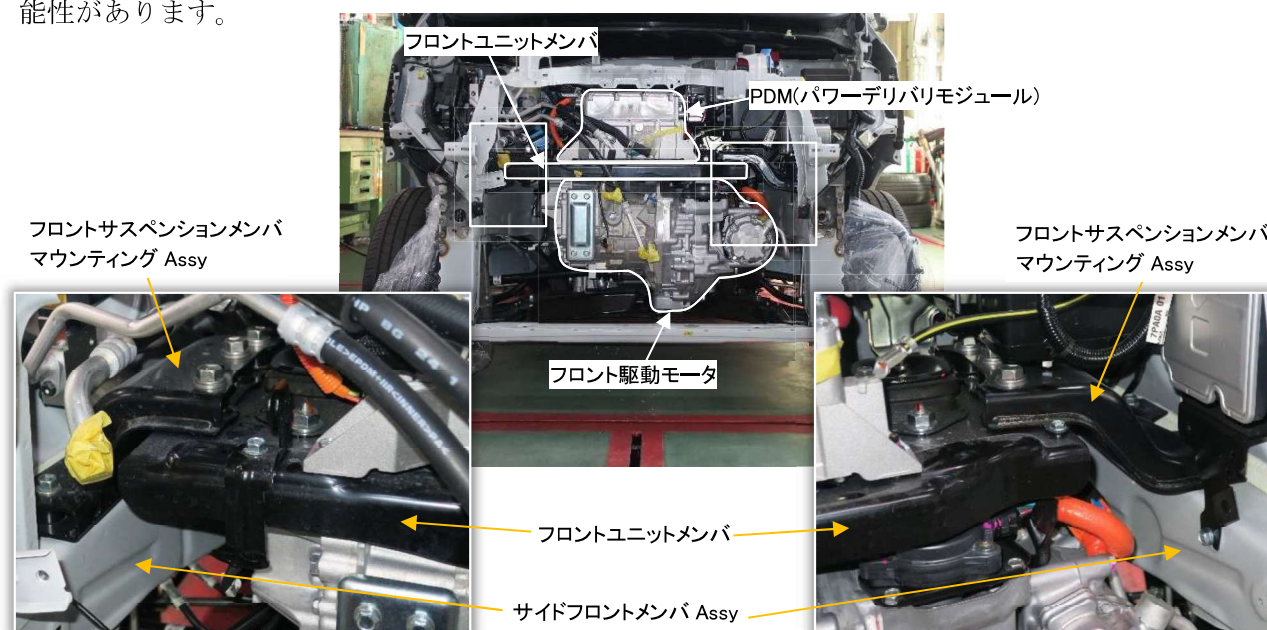


(12) ソレノイドバルブブラケット

クーラロウパイプ Assy を支えているソレノイドバルブブラケットは、
フロントサイドフロントメンバ Assy に取付けられています。フロント
サイドフロントメンバ Assy が寸法移動するとソレノイドバルブブラ
ケットが損傷を受ける可能性があります。詳しくは 3 月号のサクラ
(B6AW)の前部衝突の損傷診断を参照してください。

(13) フロントユニットメンバ

サクラ(B6AW)の PDM(パワーデリバリモジュール)およびフロント駆動モータ Assy は、ロの字型のフ
ロントユニットメンバに取付けられています。フロントユニットメンバは、フロントサスペンションメ
ンバマウンティング Assy を介してサイドフロントメンバ Assy にブッシュを使用せずボルトで固定し
ているため、従来のエンジンマウンティングを使用しているデイズ(B44W)とは損傷の傾向が異なる可
能性があります。



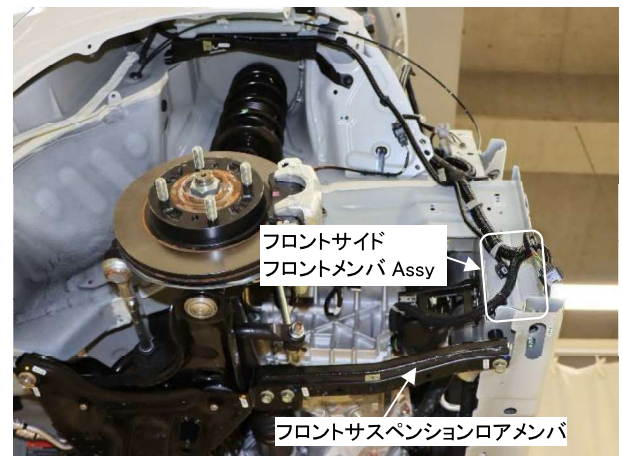
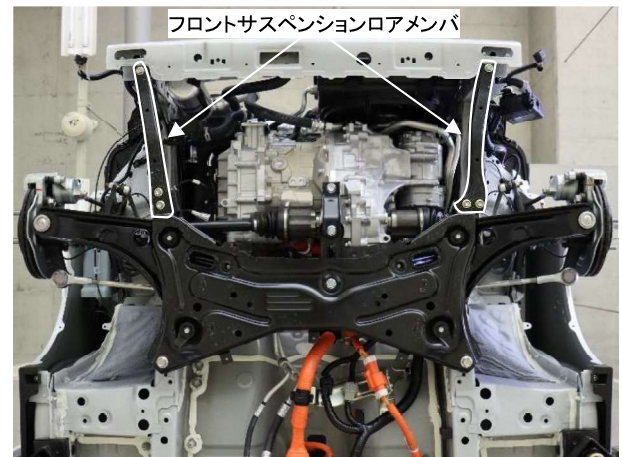
(14) 下回り

サクラ(B6AW)、デイズ(B44W)ともに前面衝突時のロードパスとしてフロントサスペンションロアメンバが取り付けられています。そのため、低速度の衝突でもフロントサスペンションロアメンバ前部に取付けられているフロントサイドフロントメンバ Assy の動きに伴い損傷がおよぶ可能性があります

デイズ(B44W)



サクラ(B6AW)



3. リヤ構造

(1) リヤバンパ

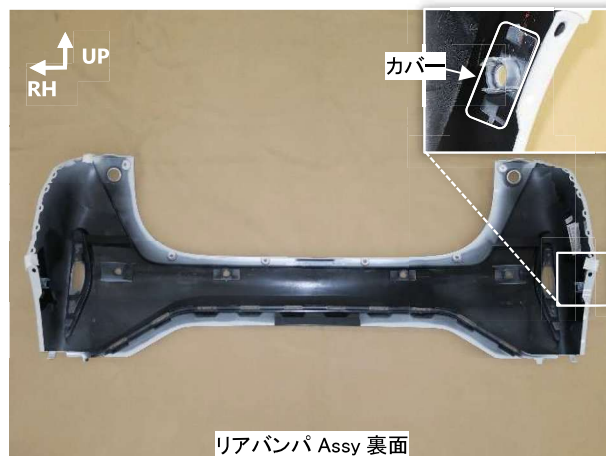
サクラ(B6AW)のリヤバンパは、カラー部のリヤバンパ Assy と素地部のリアバンパロアフェーシアで構成され、各々補給部品の設定があり損傷に応じた修理作業が可能です。



(2) ディスタンスセンサ A s s y

サクラ(B6AW)の障害物を感知するディスタンスセンサ Assy は、プロパイロットパーキング装備の有無で取付数が異なります。リアバンパ Assy 脱着やディスタンスセンサ Assy 取替を行ってもエーミング作業の必要はありません。

なお、ディスタンスセンサ Assy を取付けるカバーは、リアバンパ Assy と一体で補給されます。



(3) リアバンパステイサブ A s s y

リアバンパステイ Assy は、デイズ(B44W)には取付けられていませんでしたが、サクラ(B6AW)には取付けられています。リアバンパステイ Assy でエネルギー吸収が行えるため、同一速度で衝突した場合は、デイズ(B44W)よりリアリアフロアやサイドリアメンバへの損傷が小さくなると考えられます。

デイズ(B44W)

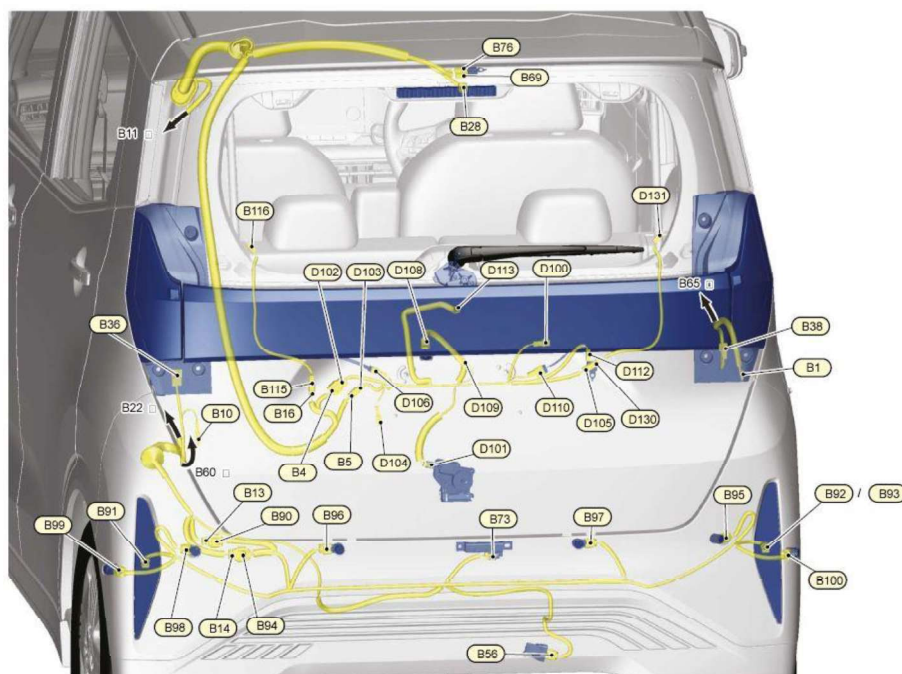


サクラ(B6AW)



(4) ボディハーネス

サクラ(B6AW)のボディハーネスのコネクタは、パーツカタログ(2022年12月現在)に掲載されていません。今回、一部のコネクタについて電子配線図からコネクタ番号を検索しコネクタキットを確認したので紹介します。



B13、B14:ワイヤ to ワイヤ
品番:24008-8999E
8160 円

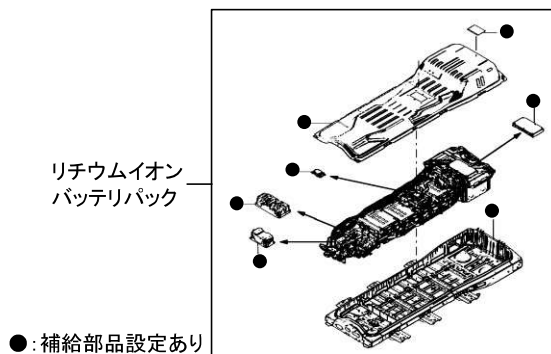
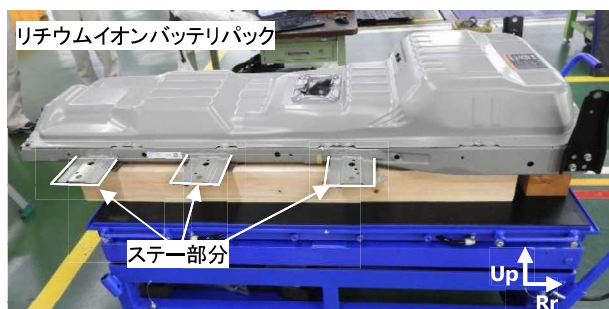
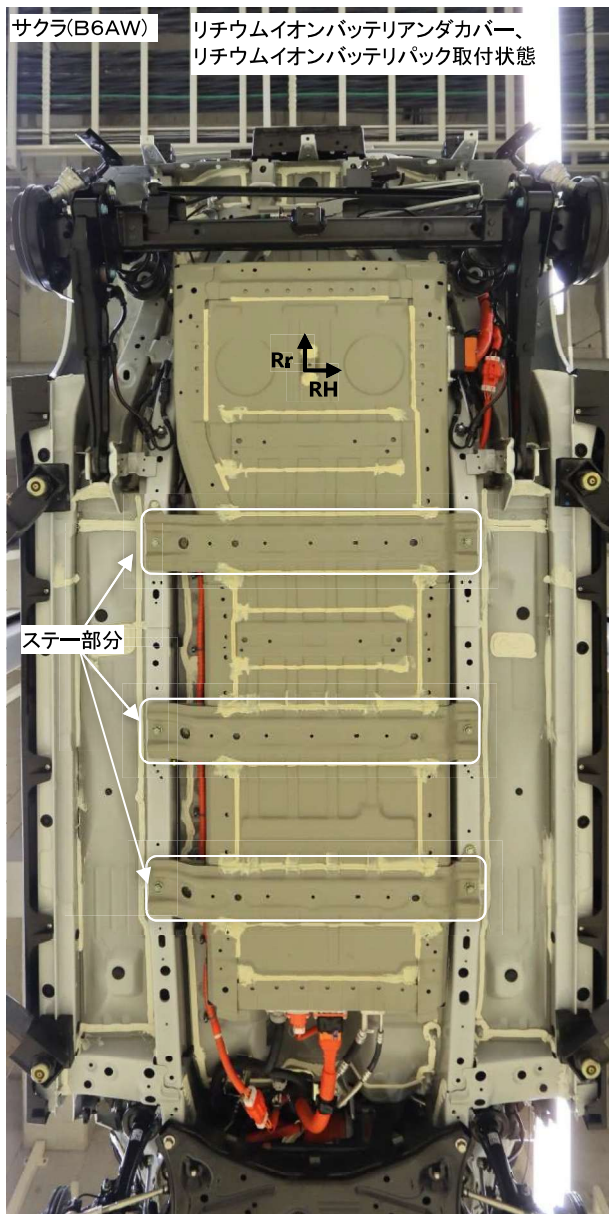
ハーネスクリップ
品番:24225-C9901
320 円

B73:室外アンテナ
品番:24028-AG005
1190 円



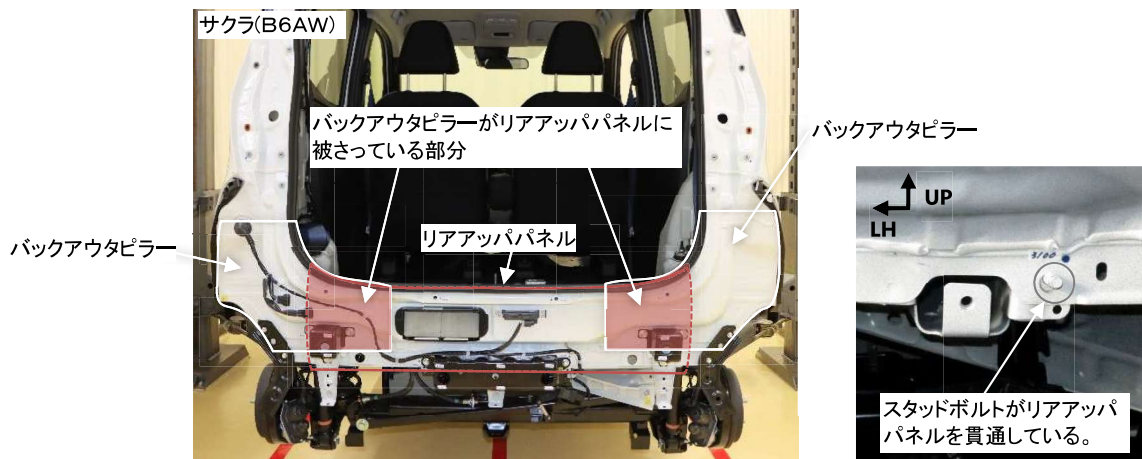
(5) リチウムイオンバッテリーパック

サクラ(B6AW)のリチウムイオンバッテリーパックは、フロア下部に取付けられ、大きさはフロントシート下付近からリヤコイルスプリング付近まであります。ボデーに取付けられるステー部分は、単品の補給部品設定がなくバッテリーフロア Assy と一体構成となっています。



(6) リアアツパパネル

リアアツパパネル両端部は、バックアウトピラーが被さった構造で下端は、後述のクロス 6TH メンバ Assy に取付けられたスタッドボルトが貫通しています。新品のリアアツパパネルを取付ける際はスタッドボルト貫通部分の一部カットを行います。詳しくは3月号のサクラ(B6AW)の後部損傷の復元修理を参照してください。



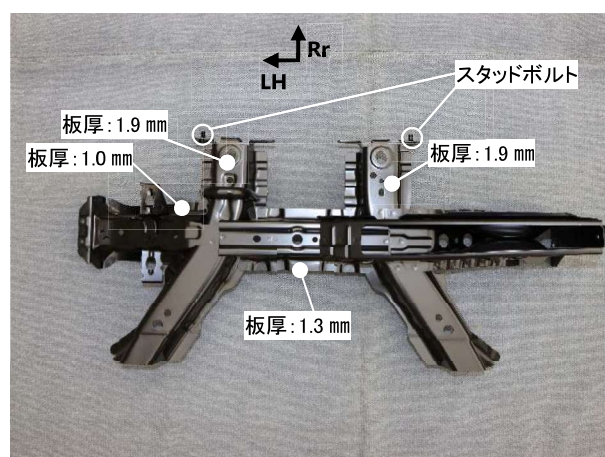
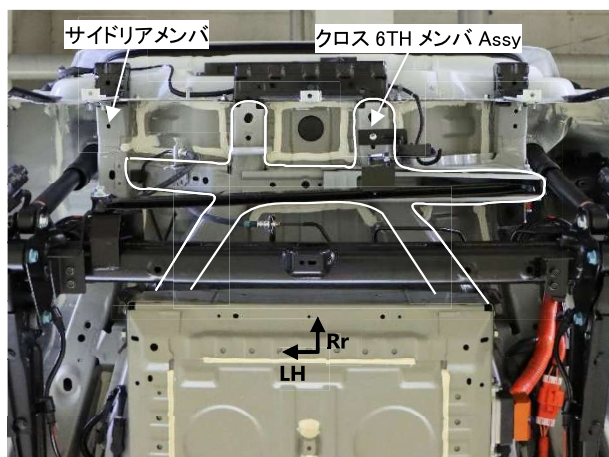
(7) リアリアフロア

サクラ(B6AW)は、リアリアフロアの上面左側に車体番号が打刻されています。打刻位置に損傷が波及した場合、ハンマリングやパテ修正などがしづらいと考えられます。



(8) クロス 6TH メンバ Assy

後方からの衝突に対応するため、サクラ(B6AW)には引張り強さ 780MPa のクロス 6TH メンバ Assy が左右サイドリアメンバの間に取付けられています。



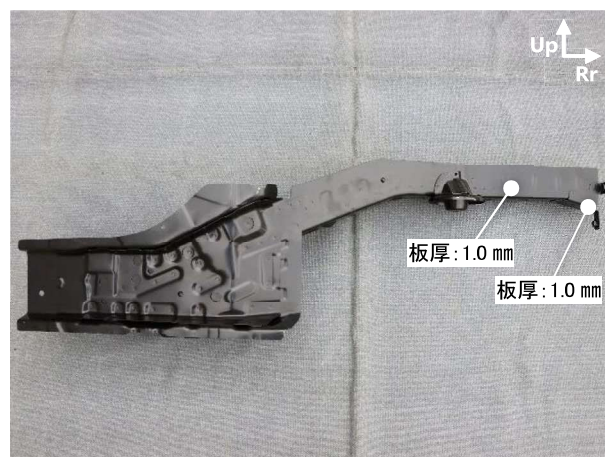
(9) サイドリアメンバ

サクラ(B6AW)のサイドリアメンバは、デイズ(B44W)と同様に引張り強さ 780MPa でサイドシル部から後端部まで一体構造です。

デイズ(B44W)

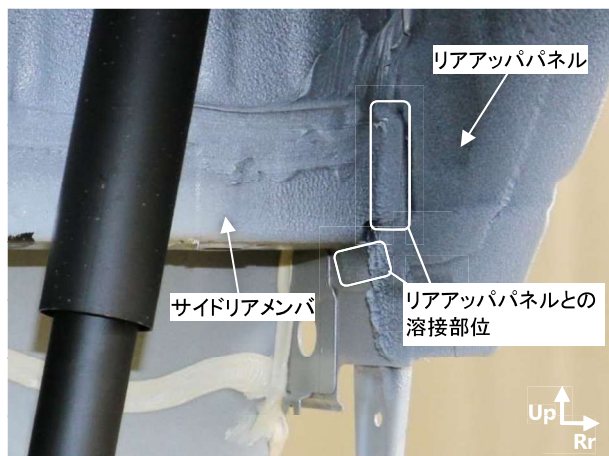


サクラ(B6AW)

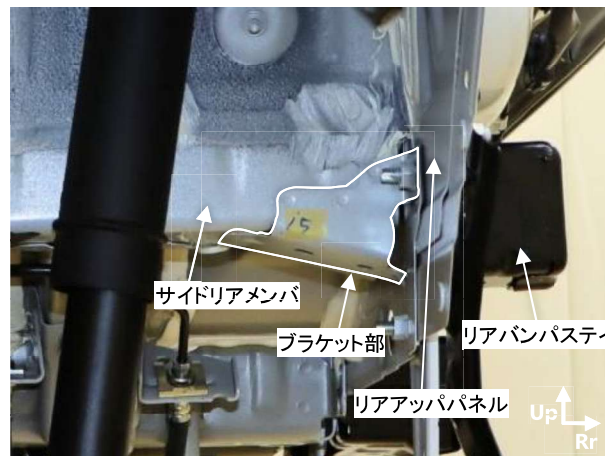


デイズ(B44W)のサイドリアメンバ後端部は、リアアッパパネルに直接取付けられているため、リアアッパパネルからの波及を受けやすいと考えられます。一方、サクラ(B6AW)のサイドリアメンバ後端部はリアバンパスティ Assy を取付けるブラケット部があり、そのブラケット部を介してリアアッパパネルに取付けられる構造のため、リアアッパパネルからの波及を受けにくいと考えられます。詳しくは3月号のサクラ(B6AW)の後部損傷の復元修理を参照してください。

デイズ(B44W)



サクラ(B6AW)



4. おわりに

サクラ(B6AW)のフロントは、フロントバンパレインフォース Assy やラジエータコアサポート周辺、サイドフロントメンバ Assy の構成がデイズ(B44W)と類似していました。ただし、デイズ(B44W)にはないサイドフロントメンバ Assy 先端の補給部品設定や、配線図集のコネクタ番号からリペアハーネスの補給部品が設定され修理性の向上が見られました。

また、リヤもデイズ(B44W)にはなかったリアバンパスティ Assy やクロス 6TH メンバ Assy が取付けられていました。サイドリアメンバ後端部のリアアッパパネルとの取付方法も異なり同一速度で衝突した場合は、デイズ(B44W)より損傷が小さくなると考えられる構造です。



<https://jikencenter.co.jp/>



〈お詫びと訂正〉

自研センターニュース

2008年2月号

P15

表中3の補給形態 誤:塗装済→正:メッキ

2010年9月号

P11

表中9、11の材質記号、名称

9 誤:PP+EPDM ポリプロピレン+EPDMゴム→

正:ABS/PC ABS樹脂/ポリカーボネート

11 誤:PP+EPDM ABS/PC ABS樹脂/ポリカーボネート→

正:ポリプロピレン+EPDMゴム

2010年11月号

P11

表中1～3の材質「P/E」の名称 誤:ポリプロピレン→正:ポリエチレン

詳細につきましては、自研センター HP <https://jikencenter.co.jp/> を
ご覧頂きますよう宜しくお願い致します。

訂正してお詫び申し上げます。

自研センターニュース 2023.2 (通巻569号) 令和5年2月15日発行

発行人/関正利 編集人/川井雅信

© 発行所/株式会社自研センター 〒272-0001 千葉県市川市二俣678番地28 Tel(047)328-9111(代表) Fax(047)327-6737
定価500円(送料別途)

本誌の一部あるいは全部を無断で複写、複製、あるいは転載することは、法律で認められた場合を除き、
著作権者の権利の侵害となります。必要な場合には予め、発行人あて、書面で許諾を求めてください。
お問い合わせは、自研センターニュース編集事務局までご連絡ください。